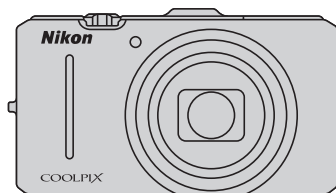
Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S9300

クールピクス S9300

使用説明書

Jp

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。iFrameのロゴおよびシンボルは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

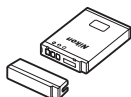
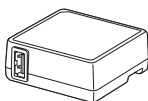
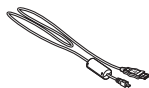
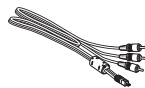
はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S9300をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(📖vi)をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

箱の中身をご確認ください

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

COOLPIX S9300 カメラ本体

ストラップ

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12(端子カバー付き)

本体充電 ACアダプター EH-69P

USB ケーブル UC-E6

オーディオビデオケーブル EG-CP16

ViewNX 2 Installer CD (ViewNX 2 インストーラー CD)

活用ガイド CD

- 使用説明書
- 保証書
- 登録のご案内

※メモリーカードは付属していません。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（□13）をご覧ください。
また、カメラ各部の主な役割や基本的な操作方法は、「各部の名称と基本操作」（□1）をご覧ください。

●付属の「活用ガイド CD」について

「活用ガイド」をPDFファイルで収録しています。さらに詳しい説明を知りたいときにご覧ください。
Adobe Reader で閲覧できます。Adobe Readerは、Adobeのホームページからダウンロードできます。

「活用ガイド CD」の内容を見るには

1 パソコンを起動し、「活用ガイド CD」をCD-ROMドライブに入れる。
2 コンピューター（Windows 7 / Windows Vista）、マイコンピュータ（Windows XP）または、デスクトップ（Mac OS X）にある［**COOLPIX S9300**］CDアイコンをダブルクリックする。
3 INDEX.pdfアイコンをダブルクリックし、［**活用ガイド**］をクリックする。

● 本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
✎	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□/☼	関連情報が記載されているページです。☼は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、［ ］で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

ホログラムシール

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。
メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、［**オープニング画面**］（📖100）の［**撮影した画像**］も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。
SDカードに保存したログデータの扱いは、SDカード内の他のデータと同じです。SDカードに未保存の取得済みデータは、［**ログ取得**］→［**ログ取得終了**］→［**ログ消去**］で消去できます。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は以下のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
⚠	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
⃠	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

禁止	**通電中のカメラに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
保管注意	**ストラップが首に巻きつかないようにすること** **特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
警告	**指定の電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を使うこと** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする** **また、搭乗前にGPSの位置情報記録機能もOFFにする** **病院では、病院の指示に従う** 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。 本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因になることがあります。

禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります。
禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠注意
（3D画像について）

使用注意	**本機器で撮影した3D画像をテレビまたはモニターなどで長時間続けて視ない** **特に視覚の発達段階にある幼児は、事前に小児科や眼科などの医師の指示に従う** 眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。 症状が出たときは、3D画像の閲覧をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。

⚠危険
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池を分解しない** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL12は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池でCOOLPIX S9300に対応しています。** **EN-EL12に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**充電には専用の充電器を使う** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しない** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは、端子カバーをつけてください。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**充電の際に、所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめる** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警告
（本体充電ACアダプターについて）

分解禁止	**分解したり修理・改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。

警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
禁止	**ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
禁止	**通電中のACアダプターに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となります。
禁止	**海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）や DC/AC インバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意
（本体充電ACアダプターについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置禁止	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

＜重要＞ GPS/電子コンパスについて

●本製品の地名情報データについて

GPS機能をお使いの前に、「地名情報データ使用許諾契約書」（7）を必ずお読みになり、ご承諾ください。

- 地名情報（Point of Interest：POI）は、日本は2011年6月現在、日本以外は2011年9月現在のものです。
  地名情報の更新はいたしません。
- 地名情報は、あくまでも目安としてお使いください。

●GPSと電子コンパスについて

- 車などを運転しながら、お使いにならないでください。
- 本製品が計測する情報（方位など）は、あくまでも目安です。
  航空機、車、人などの航法用途、および測量用途にお使いになれません。
- 本製品を登山やトレッキングなどでお使いの際は、必ず地図や航法機器、計測機器を携帯してください。
- カメラのレンズが上を向いているときは、電子コンパスは表示されません。
- 位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。
  位置情報を記録した静止画、動画、GPSログファイルの、他人への譲渡やインターネットなど複数の人が閲覧できる環境への掲載にはご注意ください。
  「●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」（v）も必ずお読みください。

●GPS設定メニューの［位置情報記録機能］を［ON］にし、［ログ取得］でログを取得している時間内は、カメラの電源をOFFにしていても、GPS機能が働きます

- カメラが出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。航空機の離着陸時や病院など使用禁止区域では、［**位置情報記録機能**］を［**OFF**］に設定のうえ、電源をOFFにしてください。

●海外旅行などでお使いの場合

- GPS機能付きカメラを旅行などで外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめください。
  たとえば、中国では、政府の許可なしに位置情報ログの収集はできません。
  GPS設定メニューの［**位置情報記録機能**］を［**OFF**］に設定してください。
- 中国および中国の周辺国の国境付近では、GPSが正常に機能しない場合があります（2011年9月現在）。

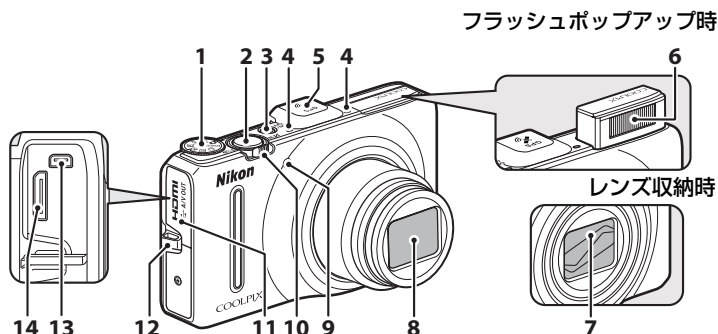
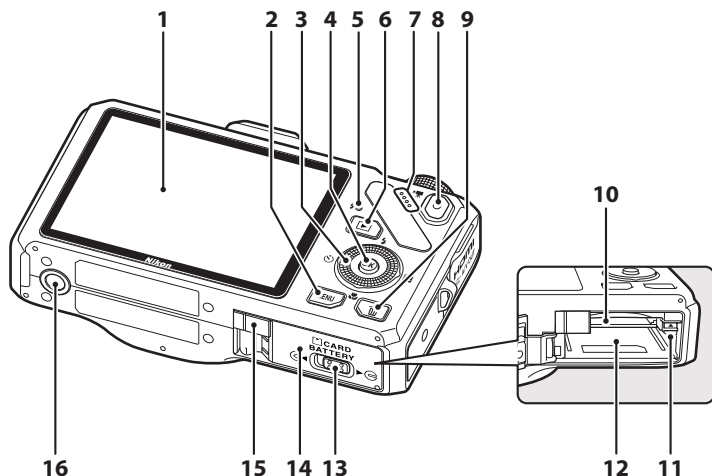
目次

各部の名称と基本操作

この章では、各部の名称のほか、各部の主な役割や基本操作について説明しています。

→すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（□13）をご覧ください。

各部の名称

カメラ本体

1	モードダイヤル	24
2	シャッターボタン	4、28
3	電源スイッチ/電源ランプ	21
4	マイク（ステレオ）	81、88
5	GPSアンテナ	95
6	フラッシュ	60
7	レンズバリアー	
8	レンズ	
9	セルフタイマーランプ AF補助光	63 101
10	ズームレバー W：広角ズーム T：望遠ズーム サムネイル表示 拡大 ヘルプ	27 27 27 31 31 38
11	端子カバー	16、82
12	ストラップ取り付け部	12
13	USB/オーディオビデオ出力端子	16、82
14	HDMIミニ端子（Type C）	82

1	液晶モニター ……………………6、24
2	MENU（メニュー）ボタン …………11
3	ロータリーマルチセレクター（マルチセレクター）…………………10
4	ⓀK（決定）ボタン ……………………10
5	充電ランプ ………………………………17 フラッシュランプ ……………………60
6	▶（再生）ボタン ……………9、30
7	スピーカー ……………81、92、101
8	●（動画撮影）ボタン ……………………………9、30、88
9	🗑（削除）ボタン ……………32、92
10	SDカードスロット …………………18
11	バッテリーロックレバー ………………………………………14、15
12	バッテリー室 ……………………………14
13	ロックレバー …………………14、18
14	バッテリー /SDカードカバー ………………………………………14、18
15	パワーコネクターカバー（別売ACアダプター接続用）
16	三脚ネジ穴

撮影時に使う主な操作部

操作部	名称	主な機能	📖
	モード ダイヤル	撮影モードを切り換える	24
	ズームレバー	**T**（🔍）（望遠）方向で被写体を大きく、**W**（▦）（広角）方向で広い範囲を写す	27
	ロータリー マルチ セレクター	→「ロータリーマルチセレクターを使う」をご覧ください。	10
	MENU （メニュー） ボタン	メニューを表示/終了する	11
	シャッター ボタン	半押し：少し抵抗を感じるところまで押し、ピントと露出を固定する 全押し：深く押し込み、シャッターをきる	28
	再生ボタン	画像を再生する	9、30
	削除ボタン	最後に保存した画像を1コマ削除する	32
	●（動画撮影）ボタン	動画撮影を開始/終了する	88

再生時に使う主な操作部

操作部	名称	主な機能	📖
	再生ボタン	• 電源 OFF 時に長押しして、再生モードで電源を ON にする • 撮影に戻る	21 9
W T	ズームレバー	• **T**（Q）方向で拡大表示、**W**（⊞）方向でサムネイル / カレンダー表示する • 音声メモ、動画再生の音量を調節する	31 81、92
OK	ロータリーマルチセレクター	→「ロータリーマルチセレクターを使う」をご覧ください。	10
OK	決定ボタン	• ヒストグラムと撮影情報を表示する /1 コマ表示に戻る。 • 連写グループの画像を 1 コマずつ表示する • かんたんパノラマで撮影した画像をスクロール再生する • 動画を再生する • サムネイル表示 / 拡大表示から 1 コマ表示に戻る	30 30 47 92 31
MENU	MENU（メニュー）ボタン	メニューを表示/終了する	11
	削除ボタン	画像を削除する	32
	シャッターボタン	撮影に戻る	–
	●（動画撮影）ボタン	撮影に戻る	–

液晶モニターの表示内容

・ 撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[**モニター設定**]（□100）→［**モニター表示設定**］→［**情報AUTO**］時）。

撮影モード

再生モード

1 コマ表示（□30）

撮影情報表示（□30）

1	撮影日	22
2	撮影時刻	22
3	音声メモ表示	81
4	Eye-Fi通信表示	102
5	お気に入りフォルダー表示 オート分類項目表示 撮影日一覧表示	78 78 78
6	バッテリー残量表示	20
7	プロテクト表示	80
8	GPS情報記録済み表示	96
9	コンパス表示（撮影時の方位）	98
10	プリント指定表示	80
11	画像モード	71
12	かんたんパノラマ	47
13	動画設定	88、91
14	(a)画像の番号/全画像数 (b)動画の再生時間	30 92
15	内蔵メモリー表示	30
16	かんたんパノラマ再生ガイド 連写グループ再生ガイド 動画再生ガイド	92
17	音量表示	81、92
18	地名情報（POI情報）	96
19	D-ライティング済み表示	80
20	簡単レタッチ済み表示	80
21	フィルター効果済み表示	80
22	スモールピクチャー	81
23	美肌編集済み表示	80
24	連写グループ表示	81
25	3D画像表示	49
26	ファイル名	
27	フォルダー名	
28	絞り値	28
29	シャッタースピード	28
30	露出補正値	68
31	ISO感度	26
32	画像の番号/全画像数	30
33	ヒストグラム※	

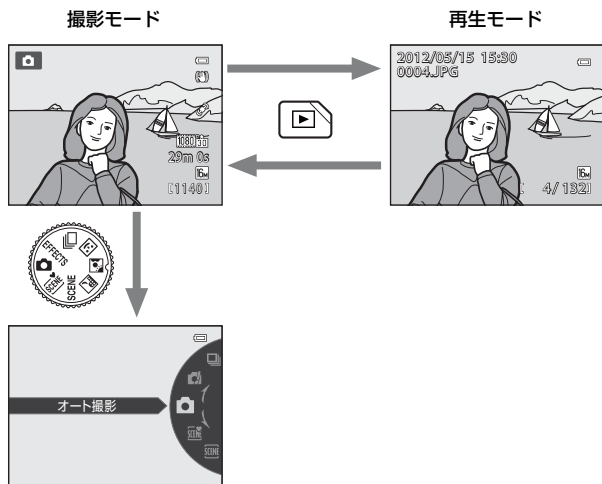
※ ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。

基本操作

撮影モードと再生モードを切り換える

このカメラには、画像を撮影する「撮影モード」と、撮影した画像を再生する「再生モード」があります。

「撮影モード」と「再生モード」を切り換えるには、▶（再生）ボタンを押します。

- 再生モードでシャッターボタン、または●（🎥 動画撮影）ボタンを押しても、撮影モードになります。

- モードダイヤルを回してアイコンを指標に合わせると、撮影モードの種類が選べます（📖24、25）。

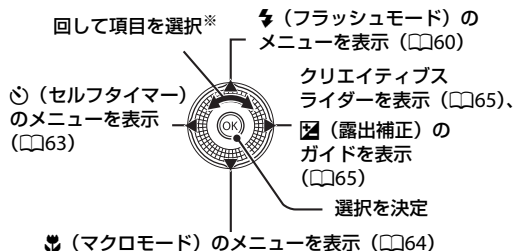
再生する画像を絞り込むには

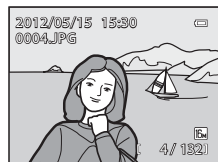
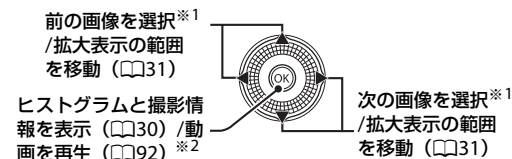
再生モードの種類を切り換えると、画像を絞り込んで再生できます。→「再生する画像を絞り込む」（📖78）

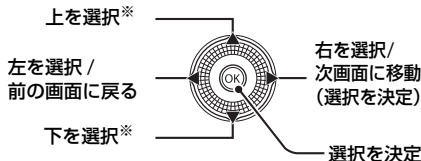
ロータリーマルチセレクターを使う

回転部を回すか、回転部の上（▲）、下（▼）、左（◀）、右（▶）、または㊰ボタンを押して操作します。

- 本書では「ロータリーマルチセレクター」を「マルチセレクター」と表記することがあります。

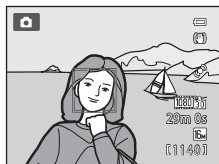
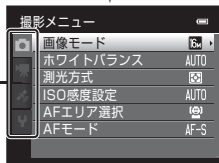
撮影モード時

※ 上または下を押しても項目を選べます。

再生モード時

※1 回転部を回しても前後の画像を選べます。
※2 サムネイル表示/拡大表示時は、1コマ表示に戻ります。

メニュー表示時

※ 回転部を回しても上下の項目を選べます。

メニューを使う（MENUボタン）

撮影、再生時の画面でMENUボタンを押すと、選んでいるモードに応じたメニューが表示されます。メニュー画面では、撮影や再生、カメラに関する各種設定を変更できます。

撮影モード

タブ

撮影メニュー

📷タブ：
使用中の撮影モード（📖24）で使える項目を表示します。タブのアイコンは、撮影モードによって異なります。

🎥タブ：
動画撮影専用の項目を表示します。

🛰タブ：
GPS設定メニュー（📖97）の項目を表示します。

🔧タブ：
セットアップメニュー（カメラに関する基本設定）の項目を表示します。

再生モード

タブ

再生メニュー

MODEタブ：
再生モードの種類（📖78）を選びます。

▶タブ：
使用中の再生モード（📖78）で使える項目を表示します。

🛰タブ：
GPS設定メニュー（📖97）の項目を表示します。

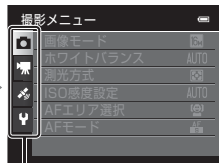
🔧タブ：
セットアップメニュー（カメラに関する基本設定）の項目を表示します。

タブが表示されないときは

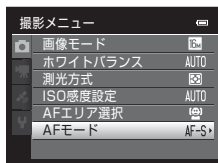
MENUボタンを押して、画像モードを選ぶ画面になったときは、◀を押すとタブが表示できます。

各部の名称と基本操作

タブの切り換え方

ロータリーマルチセレクターの◀を押してタブに移動します。

ロータリーマルチセレクターの▲▼を押してタブを選び、Ⓚボタンまたは▶を押します。

選んだタブのメニューが表示されます。

メニュー項目の選び方

ロータリーマルチセレクターの▲▼で項目を選び、▶またはⓀボタンを押します。

▲▼で項目を選び、Ⓚボタンを押します。

MENU

設定が終わったら、MENU（メニュー）ボタンを押してメニューの表示を終了します。

メニュー画面が2ページ以上あるとき

ページの位置を示すバーが表示されます。

ストラップの取り付け方

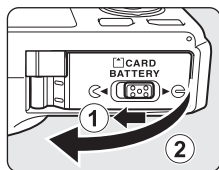
撮影と再生の基本ステップ

準備

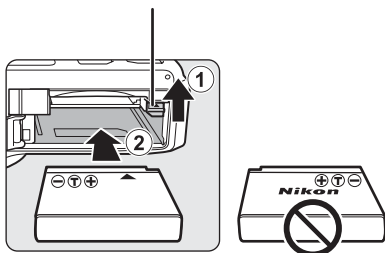
撮影

再生

準備1　バッテリーを入れる

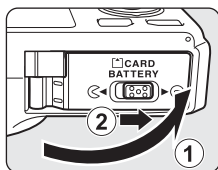
1　バッテリー /SDカードカバーを開ける

2　付属のバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池）を入れる

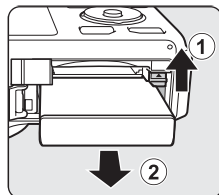
- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し上げながら（①）、奥まで差し込みます（②）。
- 正しく入れると、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。

バッテリーロックレバー

逆挿入に注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3　バッテリー /SDカードカバーを閉じる

- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください。→📖16

バッテリーを取り出すときは

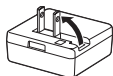
電源をOFFにして（📖21）、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

☑ 高温注意

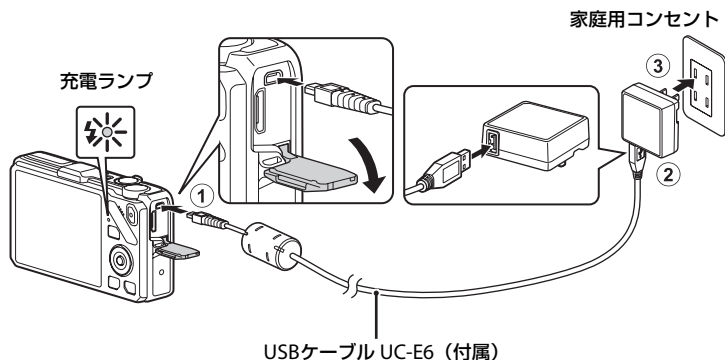
カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

☑ バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「危険」（📖viii）、「警告」（📖ix）、「注意」（📖ix）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（🔧2～🔧5）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

準備2　バッテリーを充電する

1 付属の本体充電ACアダプター EH-69Pを用意する

2 バッテリーを入れたカメラと本体充電ACアダプターを①～③の順に接続する

- 電源はOFFにしたままにしてください。
- プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

- カメラの充電ランプが緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は3時間50分です。
- フル充電されると、充電ランプが消灯します。
- 充電ランプについて→□17

3 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

- カメラをEH-69Pでコンセントに接続しているときは、カメラの電源はONにできません。

充電ランプについて

状態	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	充電していません。ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（緑色）	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ℃ ～ 35 ℃の室内で充電してください。 • USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。

本体充電ACアダプターについてのご注意

- 本体充電ACアダプターをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（□ix）、「注意」（□x）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（☼2～☼5）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

パソコンや充電器で充電する

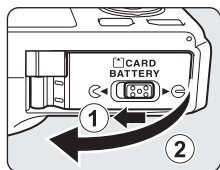
- COOLPIX S9300をパソコンに接続してもLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12を充電できます（□82、102）。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-65Pを使うと、カメラを使わずにEN-EL12を充電できます。

AC電源について

- 別売のACアダプター EH-62Fを使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62F以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

準備3　SDカードを入れる

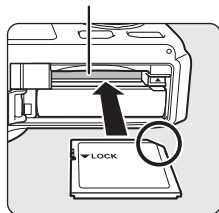
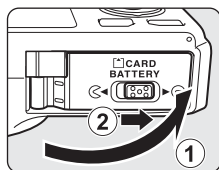
1 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開ける

- カバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

- カチッと音がするまで差し込みます。

逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。 正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

SDカードスロット

3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

SDカードの初期化について

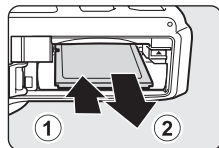
- 他の機器で使ったSD カードをこのカメラで初めて使うときは、このカメラで初期化してからお使いください。
- **SD カードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
- SD カードを初期化するには、カードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニュー（100）の［**カードの初期化**］を選びます。

SDカードについてのご注意

SDカードの使用説明書や「取り扱い上のご注意　メモリーカードについて」（5）をご覧ください。

撮影と再生の基本ステップ

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。
SDカードを指で軽く奥に押し込むと（①）、SDカードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

高温注意

カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約26 MB）またはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使って記録や再生をするときはSDカードを取り出してください。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

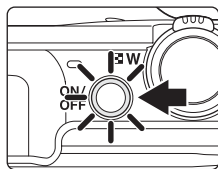
	SD メモリーカード	SDHC メモリーカード ※2	SDXC メモリーカード ※3
SanDisk	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
TOSHIBA	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※1	4 GB、8 GB、12 GB、16 GB、32 GB	48 GB、64 GB
Lexar	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

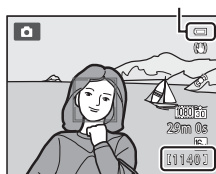
※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。
※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。
※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

ステップ1　電源をONにする

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- **はじめて電源をONにしたときは → 「表示言語と日時を設定する」**（□22）
- レンズが繰り出し、液晶モニターが点灯します。

2 バッテリー残量表示と記録可能コマ数を確認する

バッテリー残量表示

表示	意味
(電池マーク)	バッテリー残量はあります。
(電池マーク)	バッテリー残量が少なくなりました。バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
❶ **電池残量がありません**	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

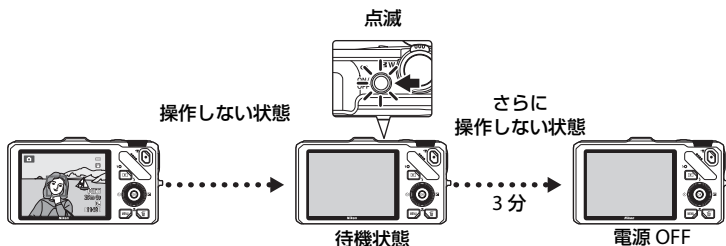
撮影できる残りのコマ数が表示されます。

- SD カードをカメラに入れていないときは、IN が表示され、画像を内蔵メモリー（約26 MB）に記録します。
- 記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画像モードによって異なります（□72）。
- イラスト上の記録可能コマ数の数値は、実際とは異なります。

電源のON/OFFについて

- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。
- 電源をOFFにするには、電源スイッチを押します。液晶モニターも、電源ランプも消灯します。
- 再生モードで電源を ON にするには、▶（再生）ボタンを長押しします。このとき、レンズは繰り出しません。

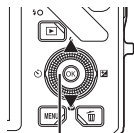
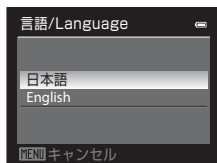
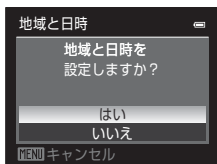
節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下の操作のいずれかを行います。
- 電源スイッチ、シャッターボタン、▶ボタン、または●（動画撮影）ボタンを押す。
- モードダイヤルを回す。

- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（□101）の［**オートパワーオフ**］で変更できます。
- 初期設定では、撮影時または再生時は、約1分で待機状態になります。
- ACアダプター EH-62F（別売）使用時は、30分（固定）で待機状態になります。

表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 マルチセレクターの▲または▼で表示言語を選び、Ⓚボタンを押す

マルチセレクター

2 ▲または▼で［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

3 ◀または▶で自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、Ⓚボタンを押す

- 夏時間を設定するには→📖23

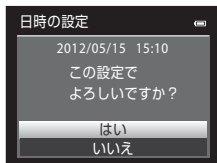
4 ▲または▼で日付の表示順を選び、Ⓚボタンまたは▶を押す

5 ▲、▼、◀または▶で日時を合わせ、Ⓚボタンを押す

- 項目を選ぶ：▶または◀を押します（[**年**]、[**月**]、[**日**]、[**時**]、[**分**]、に切り換わります）。
- 項目の内容を合わせる：▲または▼を押します。マルチセレクターを回しても変更できます。
- 設定を確認する：[**分**］を選び、Ⓚボタンまたは▶を押します。

撮影と再生の基本ステップ

6 ▲または▼で［はい］を選び、Ⓞボタンを押す

- 設定が完了すると、レンズが繰り出し、撮影画面になります。

夏時間を設定する

夏時間（サマータイム）制のある地域で、その期間中に日時を設定するときは、手順3の地域設定画面でマルチセレクターの▲を押して夏時間の設定をオンにします。
設定をオンにすると、画面上部にマークが表示されます。
オフにするには、▼を押します。

言語や日時の設定をやり直すには

- セットアップメニュー（100）で［**言語 /Language**］または［**地域と日時**］を設定します。
- セットアップメニュー →［**地域と日時**］→［**タイムゾーン**］で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。
- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面でが点滅します。セットアップメニュー（100）の［**地域と日時**］で日時を設定してください。

時計用電池について

- カメラの時計は、カメラに入れるバッテリーとは別のバックアップ用電池で動いています。
- バックアップ用電池は、カメラにバッテリーを入れるか AC アダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、設定した日時を数日間、記憶できます。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「表示言語と日時を設定する」手順2（22）

撮影日入りの画像をプリントするときは

- 撮影前に、カメラの日時を正しく設定してください。
- セットアップメニュー（100）で［**デート写し込み**］を設定すると、撮影時に、画像に日付を入れられます。
- ［**デート写し込み**］を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」（83）を使うと、日付を入れてプリントできます。

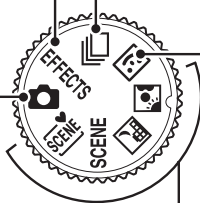
ステップ2　撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを回して、撮影モードを選ぶ

- ここでは、📷（オート撮影）モードを例に説明します。📷に合わせてください。

- 📷（オート撮影）モードの撮影画面になり、撮影モードアイコンが📷になります。

- 液晶モニターの表示内容について → 🕮6

撮影モードの種類

シーンモード（□38）

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影できます。

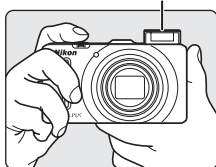
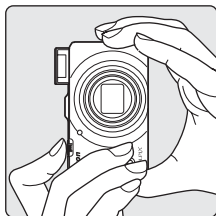
- （おまかせシーン）：構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動で選ぶので、より簡単にシーンに適した撮影ができます。
- SCENE（シーン）：メニューで 17 種類のシーンの中から撮影したいシーンを選ぶと、そのシーンに合った設定で撮影ができます。
  - シーンを選ぶには、モードダイヤルを SCENE に合わせて MENU ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼ でシーンを選んで ⓀⓀ ボタンを押します。
- （夜景）：夜景の雰囲気を表現して撮影できます。
- （逆光）：逆光状態でフラッシュを強制発光して人物が陰にならないように撮影したり、HDR の機能を使って明暗差の大きい風景を撮影したりできます。

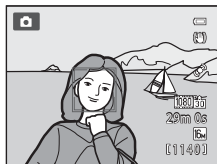
撮影モードで使える機能について

- マルチセレクターの▲（）、▼（）、◀（）または▶（）の機能を設定できます。→「マルチセレクターで設定できる機能」（□59）
- MENU ボタンを押すと、選んだ撮影モードに応じたメニュー項目が表示されます。
  撮影モードに応じたメニュー項目は、「いろいろな撮影」（□35）をご覧ください。

ステップ3　カメラを構え、構図を決める

1　カメラをしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

- フラッシュを使って、縦位置で撮影するときは、フラッシュをレンズよりも上にしてください。

2　構図を決める

- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます（初期設定）。
- 複数の顔を認識したときは、カメラに最も近い顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AF エリアは表示されません。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせます。

ISO感度表示について

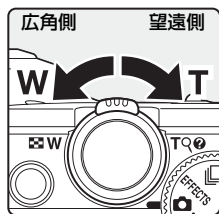
撮影画面にISO（ISO感度表示、□6）が表示されることがあります。ISOが表示されたときは、ISO感度が自動的に上がっています。

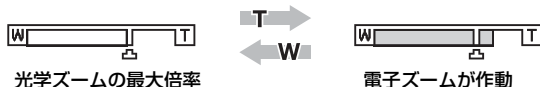
三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
  - 暗い場所で撮影するとき、フラッシュモード（□61）を㊉（発光禁止）にして撮影するとき
  - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□100）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。

- 被写体を大きく写す：**T**（望遠）方向に回す。
- 広い範囲を写す：**W**（広角）方向に回す。
- 電源をONにしたときは、最も広角側になっています。
- ズームレバーをいっぱいまで回すとズーム動作が速くなり、途中まで回すとズーム動作がゆっくりになります（動画撮影中を除く）。
- ズームレバーを回すと液晶モニターの画面上部にズームの位置が表示されます。

電子ズームについて

光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらにズームレバーを**T**方向に回し続けると、電子ズームが作動します。
電子ズームは、光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。

- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。

電子ズームと画質の劣化について

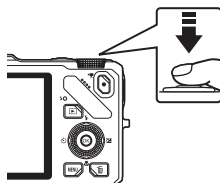
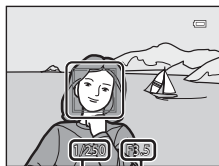
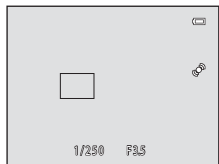
電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像モード（📖71）や電子ズームの倍率によって、画質が劣化します。
ズーム表示の凸マークは、静止画の撮影で画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。
凸マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像モードで画質を劣化させずに静止画を撮影できるズーム位置を事前に確認できます。

画像サイズが小さい場合

- セットアップメニュー（📖100）の［**電子ズーム**］で、電子ズームが作動しない設定にできます。

ステップ4　ピントを合わせ、シャッターをきる

1 シャッターボタンを指先に少し抵抗を感じるところまで押し、そのまま止める（これを「半押し」といいます）

- 半押しすると、ピントと露出（シャッタースピードと絞り値の組み合わせ）が決まります。ピントと露出は、半押しを続けている間、固定されます。
- 顔認識した場合：
  二重枠のAF エリアで囲まれた顔にピントが合います（顔認識撮影について→📖75）。ピントが合うと二重枠が緑色になります。

シャッタースピード　絞り値

- 顔認識していない場合：
  9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（📖6）が緑色に点灯します。
- 半押しして、AF エリアまたはAF表示が赤色に点滅したときは、ピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- 暗い場所などで半押しすると、AF補助光（📖101）が点灯することがあります。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（これを「全押し」といいます）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあります。ゆっくりと押し込んでください。

撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**バッテリー /SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（🕮76）をお試しください。

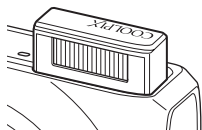
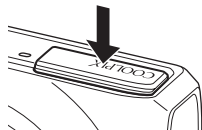
被写体との距離が近い場合

ピントが合わないときは、マクロモードまたはシーンモードの［**クローズアップ**］（🕮45）での撮影をお試しください。

シャッターチャンスを優先する撮影では

シャッターチャンスが重要な撮影では、半押しせずに、全押ししてもシャッターをきれます。

フラッシュについて

- 暗い場所などでシャッターボタンを半押しすると自動的にフラッシュがポップアップします（フラッシュモードの⚡AUTO（自動発光）（初期設定）時）。そのままシャッターボタンを全押しするとフラッシュが発光します。→「フラッシュを使う（フラッシュモード）」（🕮60）

- フラッシュを収納するときは、手で軽く押し下げます。撮影しないときは収納してください。

関連ページ

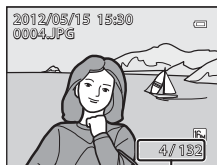
「ピント合わせについて」（🕮74）をご覧ください。

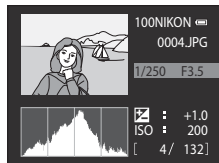
ステップ5　画像を再生する

1　▶（再生）ボタンを押す

- 撮影モードから再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を1コマ表示します。

2　マルチセレクターで前後の画像を表示する

- 前の画像を表示する：▲または◀
- 次の画像を表示する：▼または▶
- マルチセレクターを回しても画像を選べます。
- 内蔵メモリーに保存した画像を再生するときは、SDカードを取り出します。「画像の番号/全画像数」に🄸🄽が表示されます。
- 撮影に戻るには、もう一度 ▶ ボタンを押すか、シャッターボタンまたは●（動画撮影）ボタンを押します。

撮影情報を表示する

再生モードの1コマ表示で🆗ボタンを押すと、ヒストグラムと撮影情報を表示します（📖8）。1コマ表示に戻るには、もう一度🆗ボタンを押します。

画像の再生について

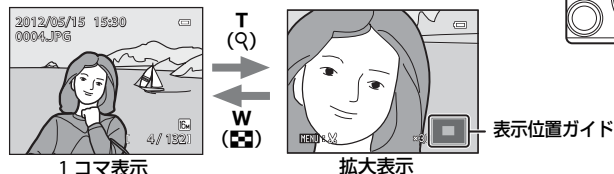
- 顔認識（📖75）またはペット検出（📖48）して撮影した画像は、1コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます。
- 画像の向き（縦横位置）は、再生メニュー（📖80）の［**画像回転**］で変更できます。
- 連写した画像の場合、一度の連写で撮影した複数の画像が1つのグループとなり、代表画像1コマのみを表示します（連写グループ表示→📖81）。代表画像の1コマ表示中に🆗ボタンを押すと、連写グループ内の画像を1コマずつ展開して表示します。代表画像のみの表示に戻すには、マルチセレクターの▲を押します。
- 前後の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。

画像の表示方法を変える

再生モードでズームレバー（**W**（▦）/ **T**（🔍））を操作すると、画像の表示方法を変更できます。

拡大表示

表示位置ガイド

1 コマ表示　　拡大表示

- 拡大率を調節するには、ズームレバー（**W**（▦）/ **T**（🔍））を操作します。約10倍まで拡大できます。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
- 顔認識（📖75）またはペット検出（📖48）して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します。複数の顔を認識したときは、▲▼◀▶で、別の顔に移動できます。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀▶を押します。
- MENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます。
- ⓀボタンをOK押すと、1コマ表示に戻ります。

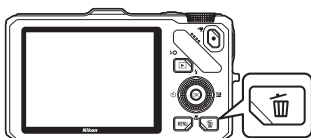
サムネイル表示/カレンダー表示

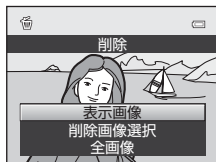
1 コマ表示　　サムネイル表示（4コマ/9コマ/16コマ/72コマ）　　カレンダー表示

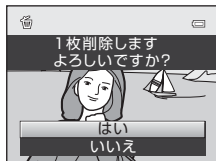
- 複数の画像を同時に表示するので、目的の画像を探しやすくなります。
- 表示コマ数は、ズームレバー（**W**（▦）/**T**（🔍））で変更できます。
- マルチセレクターを回すか、▲▼◀ ▶で画像を選びOKボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- サムネイル表示を72コマにした後、ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、「カレンダー表示」になります。
- カレンダー表示でマルチセレクターを回すか、▲▼◀ ▶で日付を選んでOKボタンを押すと、その日に撮影した最初の画像に移動して表示します。

撮影と再生の基本ステップ

ステップ6　不要な画像を削除する

1 削除したい画像を表示し、🗑ボタンを押す

2 マルチセレクターの▲または▼で削除方法を選び、Ⓚボタンを押す

- [**表示画像**]：表示している1コマを削除します。連写グループの代表画像を選んでいるときは、再生中の連写グループの画像をすべて削除します。
- [**削除画像選択**]：複数の画像を選んで削除します。→「削除画像選択画面の操作方法」（📖33）
- [**全画像**]：すべての画像を削除します。
- 削除をやめるには、MENUボタンを押します。

3 ▲または▼で［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- 削除した画像は、元に戻せません。
- 削除をやめるときは、▲または▼で［**いいえ**］を選び、Ⓚボタンを押します。

画像削除についてのご注意

- 削除した画像は元に戻せません。残しておきたい画像はパソコンなどに保存することをおすすめします。
- プロテクト設定（📖80）した画像は、削除されません。

連写した画像の削除について

- 連写した画像は、撮影した一連の画像が1つのグループ（連写グループ）となり、初期設定ではグループ内の1コマ目の画像（代表画像）のみを表示します。
- 代表画像のみの表示中に🗑ボタンを押すと、代表画像を含む同じ連写グループの画像すべてが削除の対象になります。
- 連写グループ内の画像を個別に削除するときは、🗑ボタンを押す前にⓀボタンを押して、1コマずつに展開表示してください。

撮影モードで画像を削除する

撮影モードで🗑ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセレクターの◀または▶で削除したい画像を選び、▲で✅を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して✅を非表示にします。
- ズームレバー（📖27）を**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと一覧表示に切り換わります。

2 削除したい画像すべてに✅を表示し、Ⓚボタンを押して選択を決定する

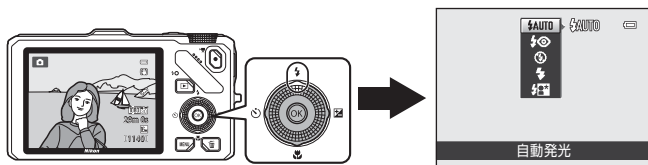
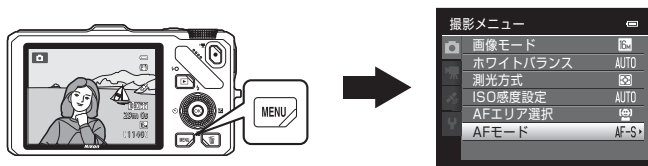
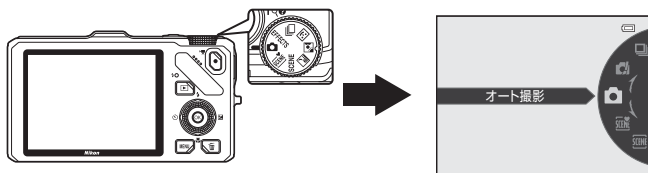
- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

削除する画像を絞り込むには

お気に入り再生モード、オート分類再生モードまたは撮影日一覧モードに切り換えると（📖78）、お気に入りフォルダー、分類や撮影日ごとに画像を絞り込んで削除できます。

いろいろな撮影

この章では、各撮影モードの特徴や、撮影モードで使える機能などを説明しています。

撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変えると、撮影方法や画像の仕上がりを工夫できます。

（オート撮影）モード

基本的な撮影ができます。また、撮影メニュー（36）の項目を撮影状況や撮影意図に合わせて設定できます。

- ピント合わせをするエリアは、MENUボタン→タブ→［**AFエリア選択**］（37）の設定によって異なります。
- ［**AF エリア選択**］が［**顔認識オート**］（初期設定）のときは、以下のようにピントが合います。
  - 人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。→「顔認識撮影について」（75）
  - 顔を認識しないときは、9 つある AF エリアのうち、最も手前の被写体をとらえている AF エリアにピントが合います。
    ピントが合うと、ピントが合った場所の AF エリア表示が緑色に点灯します（最大 9 カ所）。

（オート撮影）モードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（59）→ フラッシュモード（60）、セルフタイマー（63）、マクロモード（64）、クリエイティブスライダー（明るさ（露出補正）/鮮やかさ/色合い）（65）
- MENUボタンで設定できる機能 → 撮影メニューの種類（下記）

撮影メニューの種類（（オート撮影）モード）

（オート撮影）モードでは、以下の項目の設定が変更できます。

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ タブ（11）

- 連写モード（53）でも同じ項目を設定できます。連写の種類以外の設定は、連写モードの設定と連動して適用され、電源をOFFにしても記憶されます。

項目	内容
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます（71）。初期設定は ［**4608 × 3456**］です。この設定は、他の撮影モードにも適用されます。
ホワイトバランス	画像の色合いを見た目に近づけたいときなどに設定します。［**オート**］（初期設定）でほとんどの状況に対応できますが、思い通りの色合いにならないときは、天候や光源に合わせて設定してください。 ・ホワイトバランスを［**オート**］、［**フラッシュ**］以外に設定したときは、フラッシュモード（60）を （発光禁止）に設定してください。
測光方式	被写体の明るさを測定する方式を選びます。測定した明るさで露出（シャッタースピードと絞り値の組み合わせ）が決まります。初期設定は［**マルチパターン**］です。
ISO感度設定	ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体ブレを軽減しやすくなります。［**オート**］（初期設定）では、カメラが自動でISO感度を設定します。 ・［**オート**］のときに ISO 感度が自動的に上がると、撮影画面に ISO（26）が表示されます。
AFエリア選択	AF（オートフォーカス）でピント合わせをするエリアの決め方を［**顔認識オート**］（初期設定）、［**オート**］、［**マニュアル**］、［**中央**］または［**ターゲット追尾**］に設定します。
AFモード	シャッターボタンを半押ししたときのみピント合わせを行う［**シングルAF**］（初期設定）、または半押ししていないときもピント合わせを行う［**常時AF**］を選べます。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない場合があります（73）。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

モードダイヤルやシーンメニューから、以下の撮影シーンを選ぶと、そのシーンに合った設定で撮影ができます。

（おまかせシーン）（39）

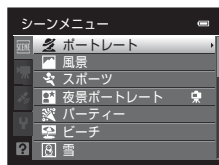
構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動で選ぶので、より簡単にシーンに適した撮影ができます。

夜景（40）
逆光（41）

モードダイヤルをまたはに合わせて撮影します。

SCENE（シーン）

MENUボタンを押してシーンメニューを表示すると、以下の撮影シーンを選べます。

ポートレート（初期設定）（42）	クローズアップ（45）
風景（42）	料理（45）
スポーツ（42）	ミュージアム（46）
夜景ポートレート（43）	打ち上げ花火（46）
パーティー（44）	モノクロコピー（46）
ビーチ（44）	かんたんパノラマ（47）
雪（44）	ペット（48）
夕焼け（44）	3D 3D撮影（49）
トワイライト（44）	

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンメニューでシーンの種類を選び、ズームレバー（4）を**T**（?）方向に回すと、そのシーンの説明（ヘルプ）を表示できます。元の画面に戻るには、もう一度ズームレバーを**T**（?）方向に回します。

シーンモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（□59）→ シーンによって異なります。「初期設定一覧」をご覧ください（□69）。
- MENU ボタンで設定できる機能 → 画像サイズと画質の組み合わせ（画像モード）を設定できます（□71、［**かんたんパノラマ**］、［**3D撮影**］を除く）。

シーンモードの種類と特徴

- 三脚マークが記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□100）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

おまかせシーン

構図を決めるだけでカメラが以下の撮影シーンを自動判別して選ぶので、簡単にシーンに適した撮影ができます。

（ポートレート）、（風景）、（夜景ポートレート）、（夜景）、（クローズアップ）、（逆光）、（その他の撮影シーン）

- シーンを自動判別すると、撮影画面の撮影モードアイコンが切り換わります。
- ピント合わせをするエリア（AF エリア）は、構図によってカメラが選びます。カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について → □75）。
- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、（オート撮影）モード（□24）に切り換えるか、撮影する被写体にあったシーンモードを選んで撮影してください。
- 電子ズームは使えません。

おまかせシーンでの夜景、夜景ポートレートの撮影について

- （夜景）に切り換わったときは、フラッシュモードの設定にかかわらず（発光禁止）になり、スローシャッターで 1 コマ撮影します。
- （夜景ポートレート）に切り換わったときは、フラッシュモードが赤目軽減スローシンクロ強制発光になり、遅いシャッタースピードで 1 コマ撮影します。

夜景

夜景の雰囲気を表現して撮影できます。
MENU ボタンを押すと、［**夜景**］から［**手持ち撮影**］または［**三脚撮影**］を選べます。

- ［**手持ち撮影**］（初期設定）: 手持ちでも手ブレやノイズの少ない撮影ができます。
  - 撮影画面に アイコンが表示されます。
  - 画面左上の アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

- ［**三脚撮影**］: 三脚などで固定して撮影するときに使います。
  - 撮影画面に アイコンが表示されます。
  - ［**手ブレ補正**］（□101）は、セットアップメニューの設定にかかわらず、自動で［**OFF**］になります。
  - シャッターボタンを全押しすると、遅いシャッタースピードで 1 コマ撮影します。

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□6）が緑色に点灯します。
- 電子ズームは使えません。

逆光

逆光状態での撮影に使います。
MENUボタンを押すと、逆光メニューの［**HDR**］で、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成した画像を記録するかどうかを設定できます。

- ［**HDR**］の［**OFF**］時（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
  - ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
  - シャッターボタンを全押しすると、1 コマ撮影します。

- ［**HDR**］の［**ON**］時：明暗差の大きい風景撮影に適しています。
  - 撮影画面に HDR アイコンが表示されます。
  - ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
  - シャッターボタンを全押しすると連写し、以下の 2 コマを記録します。
    - HDR 合成していない画像
    - HDR 合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
  - 記録画像の 2 コマ目が HDR 合成した画像になります。記録可能コマ数が 1 コマの場合は、撮影時に D- ライティング（□80）で暗い部分を明るく補正し、1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□100）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。
  - 電子ズームは使えません。

SCENE ➔ ポートレート

人物のポートレート撮影に使います。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について➞ 75）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します（52）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントを合わせます。
- 電子ズームは使えません。

SCENE ➔ 風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（6）が緑色に点灯します。

SCENE ➔ スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 連写するには、シャッターボタンを全押しし続けます。約 2 コマ / 秒の速さで約 6 コマまで連写できます（画像モード ［**4608 × 3456**］のとき）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。

SCENE ➔ 夜景ポートレート

夕景や夜景を背景にした人物撮影に使います。背景の雰囲気を活かしながら人物をフラッシュ撮影します。
シーンモードの［**夜景ポートレート**］を選ぶと表示される画面で、［**手持ち撮影**］または［**三脚撮影**］を選べます。

- ［**手持ち撮影**］：
  - 撮影画面に アイコンが表示されます。
  - 画面左上の アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 連写している間、被写体が動くと画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

- ［**三脚撮影**］（初期設定）：三脚などで固定して撮影するときに使います。
  - 撮影画面に アイコンが表示されます。
  - ［**手ブレ補正**］（101）は、セットアップメニューの設定にかかわらず、自動で［**OFF**］になります。
  - シャッターボタンを全押しすると、遅いシャッタースピードで 1 コマ撮影します。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について → 75）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します（52）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントを合わせます。
- 電子ズームは使えません。

SCENE ➔ パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□100）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

SCENE ➔ ビーチ

晴天の海や砂浜、湖などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

SCENE ➔ 雪

晴天の雪景色を明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

SCENE ➔ 夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

SCENE ➔ トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。
- シャッターボタンを半押しすると、常にAFエリアまたはAF表示（□6）が緑色に点灯します。

SCENE ➔ クローズアップ

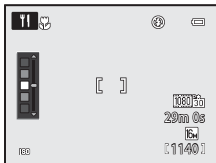
草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- マクロモード（□64）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、OK ボタンを押し、マルチセレクターを回すか、▲▼◀▶ を押します。以下の設定をするときは、OK ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - フラッシュモード
  - セルフタイマー
  - 露出補正
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

SCENE ➔ 料理

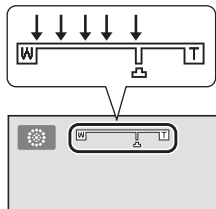
料理の撮影に使います。

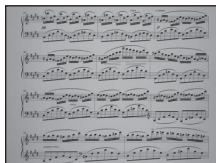
- マクロモード（□64）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。

- 色合いをマルチセレクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、OK ボタンを押し、マルチセレクターを回すか、▲▼◀▶ を押します。以下の設定をするときは、OK ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - 色合い
  - セルフタイマー
  - 露出補正
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

SCENE ➔ 🏛 ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている 1 コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセレクター）（56））。

SCENE ➔ 打ち上げ花火

遅いシャッタースピードで、打ち上げ花火を撮影します。
- ピントは、遠景に固定されます。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（6）が緑色に点灯します。
- 使用できる光学ズームの位置は、右の 5 箇所になります。ズームレバーの操作時は、5 箇所以外のズーム位置には止まりません（電子ズームは使用できます）。

SCENE ➔ モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモードを併用してください。

SCENE ➔ かんたんパノラマ

パノラマ写真をつくりたい方向にカメラを動かすだけで、カメラで再生可能なパノラマ写真を撮影できます。
シーンモードの［**かんたんパノラマ**］を選ぶと表示される画面で、撮影する範囲を［**標準（180°）**］（初期設定）、または［**ワイド（360°）**］から選べます。

- シャッターボタンを全押しして指を離し、水平方向にカメラをゆっくり動かします。設定した範囲を撮影し終えると自動で撮影が終了します。
- ピントは、撮影開始時に画面中央のエリアで合わせます。
- ズーム位置は広角側に固定されます。
- かんたんパノラマで撮影した画像は、1 コマ再生時に ⓀⓀ ボタンを押すと、画像の短辺を画面いっぱいに表示し、表示範囲を自動で移動（スクロール）します。

パノラマ写真をプリントするときのご注意

パノラマ写真をプリントする場合、プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

SCENE ➔ ペット

犬または猫の撮影に使います。

- シーンモードの[**ペット**]を選ぶと表示される画面で、[**単写**]または[**連写**]を選びます。
  - [**単写**]：1 コマずつ撮影します。
  - [**連写**]（初期設定）：[**ペット自動シャッター**]（初期設定）のときは、検出した顔にピントが合うと、3 コマ連写します（連写速度：画像モード[**4608 × 3456**]のとき約1.9コマ/秒）。ペット自動シャッターを使わないときは、シャッターボタンを全押ししている間、約1.9コマ/秒で約6コマ連写できます（画像モード[**4608 × 3456**]のとき）。
- カメラが犬または猫の顔を検出し、その顔にピントを合わせます。初期設定では、ピントが合うと自動でシャッターをきります（ペット自動シャッター）。
- 最大 5 匹の顔を同時に検出します。顔を複数検出したときは、画面内で最も大きい顔でピントを合わせます。
- ペットを検出していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央の被写体にピントを合わせます。
- マルチセレクターの◀（）を押すと、自動シャッターの設定を変更できます。
  - [**ペット自動シャッター**]（初期設定）：検出した顔にピントが合うと自動でシャッターをきります。[**ペット自動シャッター**]設定時は、撮影画面に が表示されます。
  - [**OFF**]：シャッターボタンのみでシャッターをきります。
- 以下の場合は[**ペット自動シャッター**]が自動的に[**OFF**]になります。
  - 自動シャッターによる連写を 5 回繰り返したとき
  - 撮影中に内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなったとき

  ペット自動シャッターで撮影を続けるときは、マルチセレクターの◀（）を押して、再設定してください。
- 電子ズームは使えません。
- ペットとの距離、ペットの動く速さ、顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、犬や猫を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。

ペット検出撮影した画像の再生について

- 再生すると、ペットの顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（[**連写**]（55）で撮影した画像を除く）。
- 1コマ表示でズームレバーを**T**（）方向に回すと、撮影時に検出したペットの顔を中心に拡大表示されます（31）（[**連写**]（55）で撮影した画像を除く）。

SCENE ➔ 3D 3D撮影

3D対応のテレビやモニターで、立体で表示可能な3D画像の撮影に使います。立体で表示するため、左目用と右目用の2コマを撮影します。
保存される画像モードは🖼（1920 × 1080ピクセル）になります。

- シャッターボタンを押して 1 コマ目を撮影したら、画面のガイドに被写体が重なるようにカメラを右に水平移動します。2 コマ目は自動的にシャッターがきれます。
- ピントを合わせるエリア（AFエリア）を中央以外に移動できます。移動するには、1 コマ目の撮影前に Ⓚ ボタンを押し、マルチセレクターを回すか、▲▼◀ ▶ を押します。
  以下の設定をするときは、Ⓚ ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - マクロモード
  - 露出補正
- 望遠側のズーム位置は、35mm 判換算で約 124 mm 相当の撮影画角までに制限されます。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 3D 動画は撮影できません。
- 撮影した 2 コマは、左目用と右目用を含む 3D 画像（MPO ファイル）として保存されます。このとき、1 コマ目（左目用）の JPEG ファイルも同時に保存されます。

いろいろな撮影

✔ 3D撮影についてのご注意

被写体が動く、暗い、コントラストが低いなど、撮影条件によっては、2コマ目を撮影できないことや、撮影した画像を保存できないことがあります。

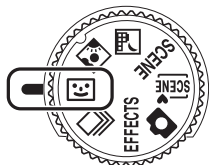
✔ 3D画像の再生方法

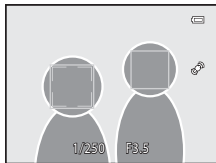
- カメラの液晶モニターでは 3D（立体）で再生できません。左目用の画像のみで再生されます。
- 3D（立体）で見るには、3D 対応のテレビまたはモニターが必要です。カメラを 3D 対応の HDMI ケーブルで接続すると（📖82）、3D で再生できます。
- カメラを HDMI ケーブルで接続するときは、セットアップメニュー（📖100）→［**TV 出力設定**］を以下に設定してください。
  - ［**HDMI**］:［**オート**］（初期設定）または［**1080i**］
  - ［**HDMI 3D 出力**］:［**ON**］（初期設定）
- カメラを HDMI 接続して再生しているときは、3D 以外の画像との表示の切り換えに時間がかかることがあります。3D（立体）で再生している画像は拡大表示できません。
- テレビまたはモニターの設定は、お使いのテレビまたはモニターの説明書をご確認ください。

✔ 3D再生についてのご注意

3D画像を3D対応のテレビまたはモニターで長時間見続けると、眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。お使いのテレビまたはモニターの説明書をよくご覧になり、適切に使用してください。

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能（□52）で人物の顔の肌をなめらかにできます。

1 構図を決め、シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。
- ［**笑顔自動シャッター**］（□51）により、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。

2 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、以下の操作を行います。
  - 電源をOFFにする
  - ［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にする
  - モードダイヤルを☺（ベストフェイスモード）以外に合わせる。

ベストフェイスモードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識機能についてのご注意」→□75

笑顔自動シャッター使用時の節電機能について

［**笑顔自動シャッター**］が［**ON**］のときは、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（□101）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

手動でシャッターをきるには

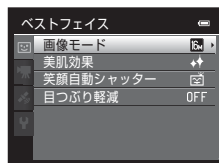
シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

ベストフェイスモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（□59）→ フラッシュモード（□60）、セルフタイマー（□63）、露出補正（□68）
- MENUボタンで設定できる機能 → ベストフェイスメニューの種類（下記）

ベストフェイスメニューの種類

ベストフェイスモードでは、以下の項目の設定が変更できます。

ベストフェイスモードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ タブ

項目	内容
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます（□71）。初期設定は ［**4608 × 3456**］です。この設定は、他の撮影モードにも適用されます。
美肌効果	美肌の効果を設定します。人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。初期設定は［**標準**］です。
笑顔自動シャッター	［**ON**］（初期設定）にすると、顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。セルフタイマーは同時に使えません。
目つぶり軽減	［**ON**］にすると、撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。 ［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。 初期設定は［**OFF**］です。

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□73）。

美肌機能について

以下の撮影モードではシャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。

- SCENE（おまかせシーン）（□39）、シーンモードの［**ポートレート**］（□42）または［**夜景ポートレート**］（□43）
- ベストフェイスモード（□50）

撮影後にも、記録した画像に美肌の編集ができます（□80）。

美肌機能についてのご注意

- 画像の記録に時間がかかることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。望ましい効果が得られない場合は、他の撮影モードに切り換えるか、ベストフェイスモード時は［**美肌効果**］を［**OFF**］にして撮影し直してください。
- SCENE（おまかせシーン）、［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］では、美肌効果の度合いは設定できません。

連写モード（連続撮影する）

動きのある被写体を連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

1 MENUボタンを押して、連写メニューの設定を確認または変更する

- 連写メニュー→📖55
- 設定したらMENUボタンを押して、撮影画面に戻ります。

2 構図を決めて撮影する

- ピント合わせをするエリアは、MENUボタン→📷タブ→［**AFエリア選択**］（📖37）の設定によって異なります。
  ［**AFエリア選択**］が［**顔認識オート**］（初期設定）のときは、人物の顔、または9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアにピントが合います（📖28、顔認識撮影について→📖75）。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が固定されます。
- 連写メニューを［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**先取り撮影**］、［**BSS**］に設定したときは、シャッターボタンの全押しを続けて連写します。
- 連写メニューを［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**マルチ連写**］に設定したときは、シャッターボタンを全押しすると、設定に応じたコマ数を一度に連写します。シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の 1 コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影終了後、撮影画面に戻ります。⌛ マークが表示された場合は、カメラの電源をOFFにしないでください。

連写モードについてのご注意

- 撮影後の画像の記録に時間がかかります。記録が終了するまでの時間は、撮影コマ数、画像モード、SDカードへの書き込み速度などによって異なります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 連写の設定を［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**マルチ連写**］にすると、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いにばらつきが発生することがあります。

連写モードで撮影した画像について

連写の設定を［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］で撮影した画像は、撮影ごとに「連写グループ」として保存されます。

連写モードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（□59）→マクロ（□64）、クリエイティブスライダー（明るさ（露出補正）/鮮やかさ/色合い）（□65）
- MENUボタンで設定できる機能→連写メニューの種類（□55）

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□73）。

連写メニューの種類

連写メニューでは、画像モード、ホワイトバランスなど◘（オート撮影）モードと同じ項目（□37）のほか、連写の種類を設定できます。

連写モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ ▣タブ

- 連写以外の項目は、「撮影メニューの種類（◘（オート撮影）モード）」（□36）をご覧ください。
- 連写の種類以外の項目は、◘（オート撮影）モードの設定と連動して適用され、電源をOFFにしても記憶されます。

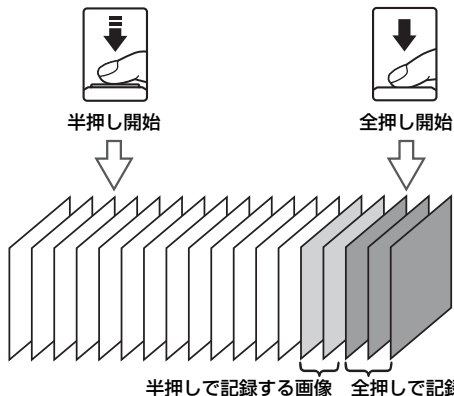
連写（連写の種類）

項目	内容
▣ 連写H（初期設定）	シャッターボタンを全押しし続けると、約6.9コマ/秒の速さで連写できます（画像モードが16M［**4608×3456**］のとき）。シャッターボタンから指をはなすか、7コマ連写すると、撮影を終了します。
▣ 連写L	シャッターボタンを全押しし続けると、約2コマ/秒の速さで、約6コマ連写できます（画像モードが16M［**4608×3456**］のとき）。シャッターボタンから指をはなすと、撮影を終了します。
▣ 先取り撮影	先取り撮影を使うと、シャッターボタンを全押しする直前の画像も記録し、シャッターチャンスを逃しにくくなります。シャッターボタンの半押しで先取りを開始し、そのまま全押しを続けると連写します（□56）。 ・連写速度：最大約10.6コマ/秒 ・連続撮影コマ数：最大5コマ（先取り撮影の最大2コマを含む）シャッターボタンから指をはなすか、最大コマ数連写すると、撮影を終了します。
▣120 高速連写120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、約1/120秒以上の高速シャッタースピードで50コマ連写します。記録される画像モードはVGA（640×480ピクセル）に固定されます。
▣60 高速連写60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、約1/60秒以上の高速シャッタースピードで25コマ連写します。記録される画像モードは1M（1280×960ピクセル）に固定されます。

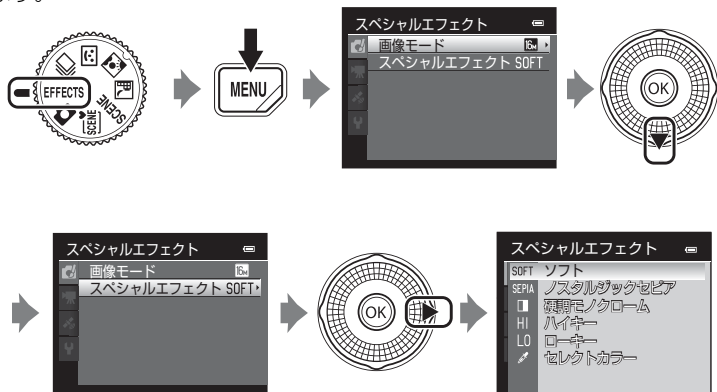
連写モード（連続撮影する）

項目	内容
BSS BSS（ベストショットセレクター）	暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。 シャッターボタンを全押しし続けると、最大10コマ連写し、最も鮮明に撮れている1コマだけをカメラが自動で選んで記録します。 静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。
マルチ連写	シャッターボタンを1回全押しすると約30コマ/秒の速さで16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 ・ 記録される画像モードは5M（2560 × 1920 ピクセル）に固定されます。 ・ 電子ズームは使えません。

先取り撮影について

［**先取り撮影**］を設定しているときに、シャッターボタンを0.5秒以上半押しすると撮影を開始し、全押しする直前の画像も連続撮影コマ数の一部として記録できます。先取り撮影できるコマ数は、2コマまでです。
先取り撮影の設定は、撮影時の画面で確認できます（□6）。シャッターボタンの半押し中は、先取り撮影アイコンが緑色に変わります。

- 記録可能コマ数が5コマ未満のときは、先取り撮影部分の画像は記録されません。撮影前に記録可能コマ数が5コマ以上残っていることをご確認ください。

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。6種類の撮影効果のいずれかを選んで撮影します。
効果を選ぶには、MENUボタンを押してスペシャルエフェクトメニューを表示します。

• ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

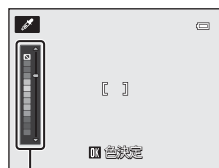
スペシャルエフェクトの種類と特徴

項目	内容
SOFT ソフト（初期設定）	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SEPIA ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
◨ 硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
HI ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
LO ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。

スペシャルエフェクトモードの設定について

［**動画設定**］（□91）が VGA120［**HS 120 fps (640×480)**］のときは、［**ソフト**］または［**ノスタルジックセピア**］は選べません。

- ［**セレクトカラー**］を選んだときは、残したい色をマルチセレクターの▲▼でスライダーから選びます。
  以下の設定をするときは、Ⓚボタンを押していったん色を選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - フラッシュモード（📖60）
  - セルフタイマー（📖63）
  - マクロモード（📖64）
  - 露出補正（📖68）

  もう一度Ⓚボタンを押すと、再び色を選べる状態になります。

スペシャルエフェクトモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（📖59）→フラッシュモード（📖60）、セルフタイマー（📖63）、マクロ（📖64）、露出補正（📖68）。
- MENUボタンで設定できる機能 →画像サイズと画質の組み合わせ（画像モード）を設定できます（📖71）。

マルチセレクターで設定できる機能

撮影時にマルチセレクターの▲（⚡）、◀（セルフタイマー）、▼（マクロ）、▶（露出補正）を押すと、下記の機能を設定できます。

設定できる機能の種類

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。

- 各撮影モードの初期設定は「初期設定一覧」（69）をご覧ください。

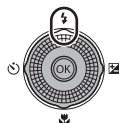
	機能	撮影	SCENE（おまかせシーン）、SCENE、夜景、逆光	スマイル	連写	EFFECTS
⚡	フラッシュモード（60）	○	※1	○※2	×	○
セルフタイマー	セルフタイマー（63）	○		○※2	×	○
マクロ	マクロモード（64）	○		×	○	○
露出補正	クリエイティブスライダー（明るさ（露出補正）/鮮やかさ/色合い）（65）	○		×	○	×
	露出補正（68）	×		○	×	○

※1 シーンによって異なります。→「初期設定一覧」（69）

※2 ベストフェイスメニューの設定により異なります。→「初期設定一覧」（69）

フラッシュモード（フラッシュを使う）

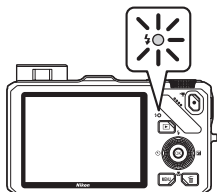
フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 マルチセレクターの▲（⚡ フラッシュモード）を押す

2 マルチセレクターでモードを選び、Ⓚ ボタンを押す

- フラッシュモードの種類→□61
- Ⓚボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

- ⚡AUTO（自動発光）にすると［**モニター表示設定**］（□100）にかかわらず、⚡AUTOは数秒間で消えます。

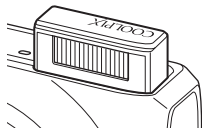
3 構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュランプでフラッシュの状態を確認できます。
  - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
  - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
  - 消灯：発光しません。
- バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュの光が届く距離

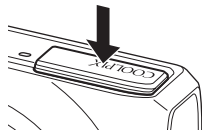
フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.5～5.1 m、望遠側で約1.5～3.0 mです（［**ISO感度設定**］が［**オート**］時）。

フラッシュのポップアップ

シャッターボタンを半押ししたときに、フラッシュの発光条件がそろうと、自動でポップアップします。

- 自動発光の場合（⚡AUTO 自動発光、⚡◎ 赤目軽減自動発光、または ⚡★ スローシンクロ）：撮影時に暗い場所などでシャッターボタンを半押しすると、自動的にフラッシュがポップアップします。ポップアップするかどうかは、被写体の明るさや、撮影時の設定によってカメラが判定します。

- ⊘発光禁止：シャッターボタンを半押ししても、フラッシュはポップアップしません。フラッシュを閉じたまま撮影できます。
- ⚡強制発光：撮影時にシャッターボタンを半押しすると、フラッシュがポップアップします。

フラッシュの収納

フラッシュを使わないときは、フラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。

フラッシュモードの種類

⚡AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
⚡◎	**赤目軽減自動発光**
	人物撮影に適しており、フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します（□62）。
⊘	**発光禁止**
	フラッシュは発光しません。 ・暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
⚡	**強制発光**
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
⚡★	**スローシンクロ**
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 設定は、撮影モードによって異なります。
  →「設定できる機能の種類」（59）
  →「初期設定一覧」（69）
- 他の機能と組み合わせて使えない場合があります。→「同時に設定できない機能」（73）
- （オート撮影）モードの場合、変更したフラッシュモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

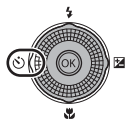
赤目軽減自動発光について

このカメラは、「アドバンスト赤目軽減方式」を採用しています。
画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影する際は、以下にご注意ください。

- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押してから約10秒または2秒後にシャッターをきります。記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときにセルフタイマーを使うと便利です。
セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□100）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

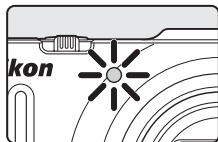
1 マルチセレクターの◀（セルフタイマー）を押す

2 マルチセレクターで［**10s**］または［**2s**］を選び、OKボタンを押す

- ［**10s**］（10秒）：記念撮影などに適しています。
- ［**2s**］（2秒）：手ブレの軽減に適しています。
- 撮影モードがシーンモードの［**ペット**］のときは、（ペット自動シャッター）が表示されます（□48）。セルフタイマー［**10s**］、［**2s**］は使えません。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

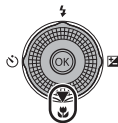
3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出を合わせます。

4 シャッターボタンを全押しする

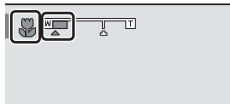
- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

マクロ（接写）モードを使う

最短で、レンズ前約4 cmまでの被写体にピント合わせができます。
草花などの小さな被写体を大きく写したいときなどに便利です。

1 マルチセレクターの▼（マクロモード）を押す

2 マルチセレクターで［ON］を選び、OKボタンを押す

- マークが表示されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 ズームレバーを操作し、マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 被写体に近づいて撮影できる距離は、ズーム位置によって異なります。
  マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。最も広角側（マークのズーム位置）では、レンズ前約4 cmまでの被写体にピント合わせができます。

フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

オートフォーカスについて

（オート撮影）モードまたは連写モードの場合、撮影メニュー（36）→［**AFモード**］（37）の［**常時AF**］と組み合わせると、シャッターボタンを半押ししなくても、ピント合わせを行います。
それ以外の撮影モードでは、マクロモードをONにすると、自動的に［**常時AF**］になります（シーンモードの［**ペット**］時を除く）。
オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。

マクロモードの設定について

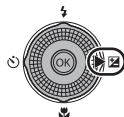
- 撮影モードによっては、マクロモードを使えません。→「初期設定一覧」（69）
- （オート撮影）モードと連写モードのマクロモード設定は、連動しています。（オート撮影）モードと連写モードの場合、マクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

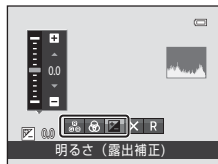
いろいろな撮影

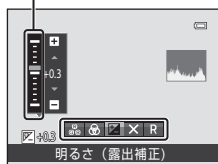
明るさ（露出補正）、鮮やかさ、色合いを調整する（クリエイティブスライダー）

撮影モード（□24）が（オート撮影）モード（□36）または連写モード（□53）のとき、クリエイティブスライダーで明るさ（露出補正）、鮮やかさ、色合いを調整して撮影できます。

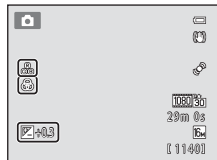
クリエイティブスライダーの操作方法

1 マルチセレクターの▶（）を押す

2 マルチセレクターの◀ ▶を押して、画面の、、またはを選ぶ

- ：明るさ（露出補正）
- ：鮮やかさ（彩度調整）
- ：色合い（ホワイトバランス調整）

3 明るさ、鮮やかさ、または色合いを調整する

- マルチセレクターを以下のように使います。
  - ▲▼：スライダーが動きます。画面で効果を確認しながら調整できます。マルチセレクターを回しても調整できます。
  - ◀ ▶：明るさ（露出補正）、鮮やかさ、色合いの各項目を切り換えられます。
- 各項目について詳しくは、以下をご覧ください。
  - 「明るさを調整する（露出補正）」（□67）
  - 「鮮やかさを調整する（彩度調整）」（□67）
  - 「色合いを調整する（ホワイトバランス調整）」（□67）
- クリエイティブスライダーの効果をオフにするときは、◀▶でRを選び、ボタンを押します。

4 調整が終わったら、◀▶で☒を選び、㊗ボタンを押す

- 手順3で㊗ボタン（R選択時を除く）またはシャッターボタンを押しても、効果の度合いを決定できます。決定すると撮影画面に戻ります。

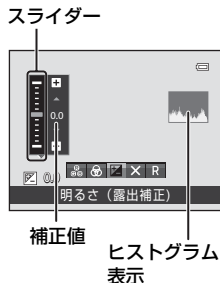
- 明るさを調整すると、☒マークと補正値が表示されます。
- 鮮やかさを調整すると、マークが表示されます。
- 色合いを調整すると、マークが表示されます。

5 シャッターボタンを押して撮影する

クリエイティブスライダーの設定について

- 他の機能と組み合わせて使えない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□73）
- 明るさ（露出補正）、鮮やかさ、および色合いの設定は、（オート撮影）モードと連写モードで連動して適用され、電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

画像全体の明るさを調整します。

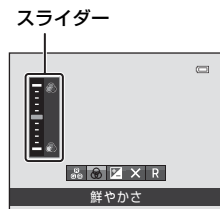
- 被写体を明るくしたいとき：スライダーを「+」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：スライダーを「−」側に設定します。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、露出を補正するときの目安になります。

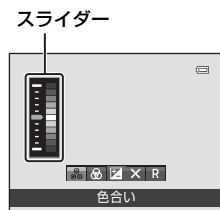
- 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- 露出補正を「+」側にすれば山が右側に寄り、「−」側にすれば山が左側に寄ります。

鮮やかさを調整する（彩度調整）

画像全体の鮮やかさを調整します。

- スライダーを上方に動かすほど画像全体の鮮やかさが増します。下方に動かすほど鮮やかさが減ります。

色合いを調整する（ホワイトバランス調整）

画像全体の色合いを調整します。

- スライダーを上方に動かすほど画像全体の赤みが増します。下方に動かすほど青みが増します。

ホワイトバランス調整のご注意

クリエイティブスライダーで色合いを調整すると、撮影メニューの［**ホワイトバランス**］（□37）は設定できません。［**ホワイトバランス**］を設定するときは、クリエイティブスライダーの設定画面でRを選び、いったん明るさ、鮮やかさ、色合いの設定をリセットしてください。

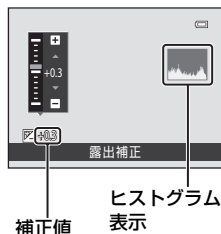
いろいろな撮影

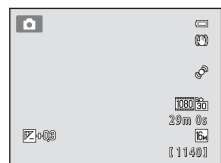
明るさを調整する（露出補正）

撮影モード（□24）がシーンモード（□38）、ベストフェイスモード（□50）またはスペシャルエフェクトモード（□57）のとき、明るさ（露出補正）を調整できます。

1 マルチセレクターの▶（露出補正）を押す

2 マルチセレクターで補正値を選ぶ

- 被写体を明るくしたいとき：補正値を「＋」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：補正値を「－」側に設定します。

3 OKボタンを押して補正値を決定する

- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択が決定されて設定メニューが消えます。
- ［**0.0**］以外に設定すると、液晶モニターにマークと補正値が表示されます。

4 シャッターボタンを押して撮影する

- 露出補正を解除するには、手順1に戻って補正値を［**0.0**］にします。

露出補正の設定について

撮影モードが、シーンモードの［**打ち上げ花火**］（□46）の場合、露出補正は使えません。

ヒストグラム表示について

詳しくは、「ヒストグラム表示について」（□67）をご覧ください。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

- シーンモードについては、次ページをご覧ください。

撮影モード	フラッシュモード（□60）	セルフタイマー（□63）	マクロモード（□64）	クリエイティブスライダー（□65）	露出補正（□67、68）
（オート撮影）（□36）	AUTO	OFF	OFF	オフ	0.0
（ベストフェイス）（□50）	AUTO※1	OFF※2	OFF※3	—	0.0
（連写）（□53）	※3	OFF※3	OFF	オフ	0.0
EFFECTS（スペシャルエフェクト）（□57）		OFF	OFF	—	0.0

※1［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のときは使えません。
※2［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にすると設定できます。
※3 変更できません。

- （オート撮影）モードと連写モードの場合、設定した内容は、電源をOFFにしても記憶されます（セルフタイマーを除く）。

いろいろな撮影

マルチセレクターで設定できる機能

シーンモードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュモード（□60）	セルフタイマー（□63）	マクロモード（□64）	露出補正（□68）
（□39）	⚡AUTO※1	OFF	OFF※2	0.0
（□40）	⊘※2	OFF	OFF※2	0.0
（□41）	⚡/⊘※3	OFF	OFF※2	0.0
（□42）	⚡◉	OFF	OFF※2	0.0
（□42）	⊘※2	OFF	OFF※2	0.0
（□42）	⊘※2	OFF※2	OFF※2	0.0
（□43）	⚡◉※4	OFF	OFF※2	0.0
（□44）	⚡◉※5	OFF	OFF※2	0.0
（□44）	⚡AUTO	OFF	OFF※2	0.0
（□44）	⚡AUTO	OFF	OFF※2	0.0
（□44）	⊘※2	OFF	OFF※2	0.0
（□44）	⊘※2	OFF	OFF※2	0.0
（□45）	⊘	OFF	ON※2	0.0
（□45）	⊘※2	OFF	ON※2	0.0
（□46）	⊘※2	OFF	OFF	0.0
（□46）	⊘※2	OFF※2	OFF※2	0.0※2
（□46）	⊘	OFF	OFF	0.0
（□47）	⊘※2	OFF※2	OFF※2	0.0
（□48）	⊘※2	※6	OFF	0.0
3D（□49）	⊘※2	OFF※2	OFF	0.0

※1 ⚡AUTO（自動発光）か⊘（発光禁止）を選べます。⚡AUTO（自動発光）では、自動判別したシーンに合わせて、カメラがフラッシュモードを設定します。
※2 変更できません。
※3 ［**HDR**］が［**OFF**］のときは⚡（強制発光）に、［**HDR**］が［**ON**］のときは⊘（発光禁止）に固定されます。
※4 変更できません。赤目軽減で強制発光します。
※5 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。変更できます。
※6 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター（□48）のON/OFFを設定できます。

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない場合があります（□73）。

画像サイズ（画像モード）を変える

撮影画面にする ➔ MENUボタン（📖11）➔ 画像モード

記録時の画像サイズ（画像の大きさ）と画質（画像の圧縮率）の組み合わせを選べます。
画像の用途や内蔵メモリー/SDカードの残量に合わせて設定してください。
画像サイズの大きい画像モードほど、大きくプリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード（画像サイズ/画質）の種類

項目※	内　容
16M★ 4608×3456★	16Mよりも高画質な画像になります。圧縮率は約1/4です。
16M 4608×3456（初期設定）	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
8M 3264×2448	
4M 2272×1704	
2M 1600×1200	16M、8M、4Mよりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
VGA 640×480	電子メールへの添付や画面の縦横比が4:3のテレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
16:9 12M 4608×2592	縦横比が16:9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。

※記録データの総画素数と長辺×短辺の画素数を表しています。
例：16M★ 4608×3456：約16メガピクセル＝4608×3456ピクセル

画像モードの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（📖6、8）。

画像モードの設定について

- 設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- 他の機能と組み合わせて使えない場合があります。→「同時に設定できない機能」（📖73）
- シーンモード（📖38）の［かんたんパノラマ］および［**3D撮影**］に設定時は画像モードを選べません。

記録可能コマ数

内蔵メモリーや4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像モード	内蔵メモリー（約26 MB）	SDカード※1（4 GB）	プリント時の大きさ※2
4608×3456★	約2コマ	約590コマ	約39×29 cm
4608×3456	約4コマ	約1140コマ	約39×29 cm
3264×2448	約9コマ	約2230コマ	約28×21 cm
2272×1704	約20コマ	約4560コマ	約19×14 cm
1600×1200	約43コマ	約8610コマ	約13×10 cm
640×480	約140コマ	約24100コマ	約5×4 cm
4608×2592	約5コマ	約1470コマ	約39×22 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。
※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cmで計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

同時に設定できない機能

撮影時の設定には、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	目つぶり軽減（A51）	［**目つぶり軽減**］を［**ON**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	AFエリア選択（A37）	［**ターゲット追尾**］にして撮影するときは、セルフタイマーは使えません。
	笑顔自動シャッター（A50）	［**笑顔自動シャッター**］にして撮影するときは、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	AFエリア選択（A37）	［**ターゲット追尾**］にして撮影するときは、マクロモードは使えません。
画像モード	連写（A53）	連写の設定によって、［**画像モード**］は以下のように固定されます。 ・［**高速連写 120 fps**］時：VGA（画像サイズ：640 × 480 ピクセル） ・［**高速連写 60 fps**］時：1M（画像サイズ：1280 × 960 ピクセル） ・［**マルチ連写**］時：5M（画像サイズ：2560 × 1920 ピクセル）
ISO感度設定	連写（A53）	［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**マルチ連写**］にして撮影するときは、［**ISO感度設定**］は明るさに応じて自動的に設定されます。
ホワイトバランス	クリエイティブスライダーの色合い（A67）	クリエイティブスライダーで色合いを調整すると、撮影メニューの［**ホワイトバランス**］は設定できません。［**ホワイトバランス**］を設定するときは、クリエイティブスライダーの設定画面でRを選び、いったん明るさ、鮮やかさ、色合いの設定をリセットしてください。
デート写し込み	連写（A53）	［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］にして撮影するときは、日付を写し込めません。
モーション検知	AFエリア選択（A37）	［**ターゲット追尾**］にして撮影するときは、［**モーション検知**］は作動しません。
	ISO感度設定（A37）	ISO感度を［**オート**］以外に設定して撮影するときは、［**モーション検知**］は作動しません。
	連写（A53）	［**BSS**］以外に設定して撮影するときは、［**モーション検知**］は作動しません。
電子ズーム	AFエリア選択（A37）	［**ターゲット追尾**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。
	連写（A53）	［**マルチ連写**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。

電子ズームについてのご注意

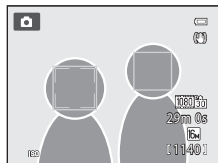
- 撮影モードによっては、電子ズームは使えません。
- 電子ズーム使用時は、AFエリア選択や測光方式などが制限されます。

ピント合わせについて

撮影モードによって、AFエリアやピント合わせできる撮影距離は異なります。

- 被写体との距離が近すぎるときは、ピント合わせができないことがあります。マクロモード（□64）またはシーンモードの［**クローズアップ**］（□45）での撮影をお試しください。
- （オート撮影）モード、または連写モードでは、撮影メニューの［**AF エリア選択**］（□37）でピント合わせをするエリアの決め方を設定できます。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□29）の撮影では、ピントが合わないことがあります。シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、フォーカスロック撮影（□76）をお試しください。

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

撮影モード	認識する顔の数	AFエリア（二重枠）
（オート撮影）モード、連写モードで［**AFエリア選択**］（37）を［**顔認識オート**］に設定時	最大12人	カメラに最も近い顔
（おまかせシーン）、シーンモード（38）の［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］		
ベストフェイスモード（50）	最大3人	画面中央に最も近い顔

- ［**顔認識オート**］では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
- （おまかせシーン）では、自動判別した撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- ［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］またはベストフェイスモードでは、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央の被写体にピントを合わせます。

顔認識機能についてのご注意

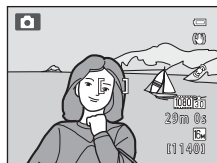
- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（29）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、「フォーカスロック撮影」（76）をお試しください。

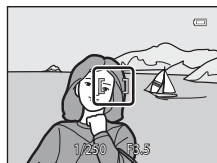
顔認識撮影した画像の再生について

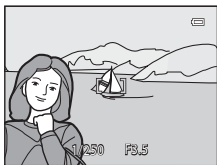
- 再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（連写モード（53）で撮影した画像を除く）。
- 1コマ表示でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます（31）（連写モード（53）で撮影した画像を除く）。

フォーカスロック撮影

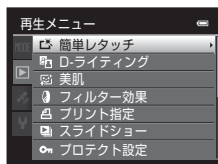
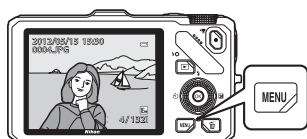
AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。
ここでは、📷（オート撮影）モードまたは連写モードで、［**AFエリア選択**］（📖37）を［**中央**］に設定した場合のフォーカスロックの操作方法を説明します。

1 ピントを合わせる被写体を画面中央に配置する

2 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AF エリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。

3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

いろいろな再生

この章では、画像を絞り込んで再生する方法や再生時に使える機能について説明しています。

再生する画像を絞り込む

再生モードの種類を切り換えると、画像を絞り込んで再生できます。

再生モードの種類

▶ 再生 📖30

画像を絞り込まず、撮影したすべての画像を再生します。撮影モードから再生モードに切り換えると、このモードになります。

★ お気に入り再生

お気に入りフォルダーに登録した画像のみを再生します。このモードに切り換える前に、お気に入りフォルダーへの画像登録が必要です（📖81）。

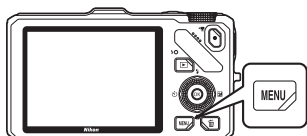
AUTO オート分類再生

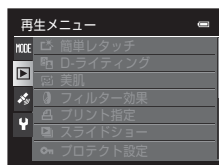
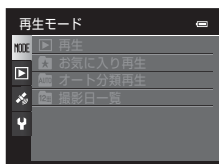
撮影した画像は、人物、風景、動画などの項目に自動で分類されます。同じ分類の画像のみを再生します。

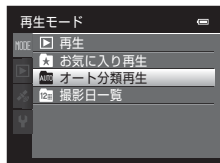
12 撮影日一覧

同じ撮影日の画像のみを再生します。

再生モードの切り換え方法

1 再生時にMENUボタンを押す

2 マルチセレクターの◀を押す

- タブが選べるようになります。

3 ▲または▼を押してMODEタブを選び、OKボタンまたは▶を押す

4 ▲または▼でモードを選び、Ⓚボタンを押す

- ［**再生**］を選んだときは、再生画面になります。
- ［**再生**］以外を選んだ場合→手順5

5 お気に入りフォルダー、分類、または撮影日を選び、Ⓚボタンを押す

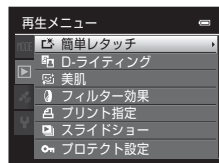
- お気に入りフォルダー、分類、または撮影日を選び直すときは、手順1から繰り返してください。

オート分類再生モードのとき

再生モードで使える機能（再生メニュー）

以下のメニュー操作ができます。

▶ボタンを押す（1コマ表示またはサムネイル表示）➔ MENUボタン ➔ ▶（再生メニュー）タブ（□11）※

※　再生モードの種類を「お気に入り再生」、「オート分類再生」または「撮影日一覧」モードに切り換えたときは、★（お気に入り再生）、AUTO（オート分類再生）または12（撮影日一覧）タブを選びます。

項目	内容
簡単レタッチ※1、2	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング※1、2	逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。
美肌※1、2	撮影した画像から人物の顔を検出して、顔の肌をなめらかにします。
フィルター効果※1、2	デジタルフィルターでいろいろな効果を付けます。効果の種類には、［**ソフト**］、［**セレクトカラー**］、［**クロススクリーン**］、［**魚眼効果**］、［**ミニチュア効果**］、［**絵画調**］があります。
プリント指定※3、4	SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかを設定します。
スライドショー	内蔵メモリー/SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。
プロテクト設定※3	大切な画像や動画を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。
画像回転※2、4	撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。

項目	内容
スモールピクチャー ※1、2	撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。
音声メモ※2	撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモを付けられます。音声メモの再生または削除もできます。
画像コピー※5	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。動画もコピーできます。
連写グループ表示方法	連写した画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示にするかを設定します。
連写の代表画像選択	連写した一連の画像（連写グループ）の代表画像を変更します。 • 設定時はメニューを表示する前に、変更したい連写グループを選びます。
お気に入り登録	お気に入りの画像を選んで登録します。 • お気に入り再生モードのときは、表示されません。
お気に入り解除	お気に入り登録を解除します。 • お気に入り再生モードのときのみ、表示されます。

※1 選択中の画像を編集し、元画像とは異なるファイル名で保存します。ただし、以下の画像は編集できません。

- 縦横比16:9の画像
- ［**かんたんパノラマ**］または［**3D撮影**］で撮影した画像

また、編集済みの画像は繰り返し編集できないなどの制限があります。

※2 連写グループの画像は、代表画像だけを表示しているときは設定できません。メニューを表示する前に、OKボタンを押して画像を1コマずつ表示すると設定できます。

※3 撮影日一覧モードのときは、撮影日の一覧画面でMENUボタンを押すと、選んだ日付の画像をまとめて同じ設定にできます。

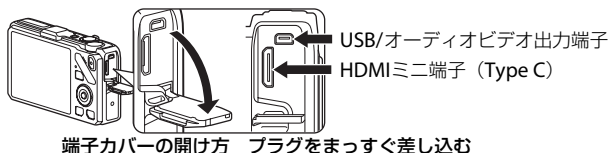
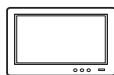
※4［**3D撮影**］で撮影した画像は設定できません。

※5 お気に入り再生モード、オート分類再生モード、撮影日一覧モードのときは、選べません。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。

- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。また、接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書も併せてお読みください。

端子カバーの開け方　プラグをまっすぐ差し込む

テレビで鑑賞する

撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：付属のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）EG-CP16の映像プラグと音声プラグ（ステレオ）をテレビの外部入力端子に接続します。または、市販のHDMIケーブル（Type C）を、テレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する □83

パソコンに転送すると、静止画や動画の再生だけではなく、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：付属のUSBケーブル UC-E6をパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に付属の「ViewNX 2 Installer CD」を使って、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください。付属の「ViewNX 2 Installer CD」の使い方、パソコンへの簡単な転送手順については、85 ページをご覧ください。
- パソコンから電源を供給するタイプの他の USB 機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、SD カードなどが壊れるおそれがあります。

パソコンを使わずにプリントする

PictBridge対応プリンターと接続するとパソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：付属のUSBケーブル UC-E6をプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これら全てを可能とするオールインワンソフトです。
付属の「ViewNX 2 Installer CD」からインストールできます。

ViewNX 2をインストールする

- **インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。**

対応OS

Windows

- Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate（Service Pack 1）
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2）
- Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

- Mac OS X（version 10.5.8、10.6.8、10.7.2）

対応OSに関する最新情報、動作環境については、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動し、付属の「ViewNX 2 Installer CD」をCD-ROMドライブに入れる

- Mac OS：［**ViewNX 2**］ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ内の［**Welcome**］アイコンをダブルクリックします。

2 ［言語選択］ダイアログで言語を選択し、［Welcome］ウィンドウを開く

- ［**言語選択**］ダイアログのメニューに選択したい言語がない場合は、［**地域選択**］をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。
- ［**次へ**］をクリックすると、［**Welcome**］ウィンドウが開きます。

3 インストールを開始する

- インストールをする前に、［**Welcome**］ウィンドウの［**インストールガイド**］をクリックして、インストール方法のヘルプと動作環境を確認することをおすすめします。
- ［**Welcome**］ウィンドウの［**インストール（推奨）**］をクリックします。

4 ソフトウェアをダウンロードする

- ［**ソフトウェアのダウンロード**］画面が表示されたら、［**同意して、ダウンロード開始**］をクリックします。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

5 インストール終了画面が表示されたら、インストールを終了する

- Windows：［**はい**］をクリックします。
- Mac OS：［**OK**］をクリックします。

以下のソフトウェアがインストールされます。

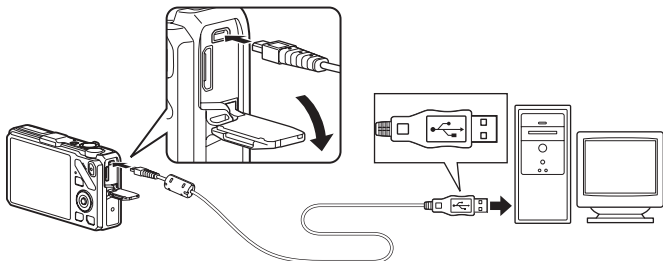
- ViewNX 2（以下の3つのモジュールで構成されています）
  - Nikon Transfer 2：画像をパソコンに取り込みます
  - ViewNX 2：取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
  - Nikon Movie Editor：取り込んだ動画の簡易編集ができます
- Panorama Maker 6（複数コマに分割して撮影した風景などを、1枚のパノラマ写真に合成できます）

6 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

パソコンに画像を取り込む

1　画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- SD カードを入れたカメラの電源をOFF にしてから、付属のUSBケーブル UC-E6 でカメラとパソコンを接続します。カメラの電源が自動的にONになります。
  内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにSDカードを入れずにパソコンに接続します。

- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SD カードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SD カードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

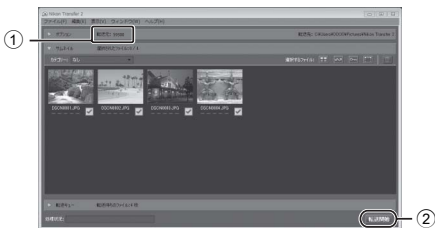
- **Windows 7 をお使いの場合**
  右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。
  1［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックする
  2［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックする

SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 画像をパソコンに取り込む

- Nikon Transfer 2の［**オプション**］の［**転送元**］に、接続したカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します（①）。
- ［**転送開始**］ボタンをクリックします（②）。

- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2 の初期設定）。

3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFF にしてから、USB ケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

画像を見る

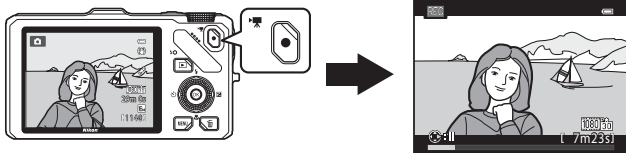
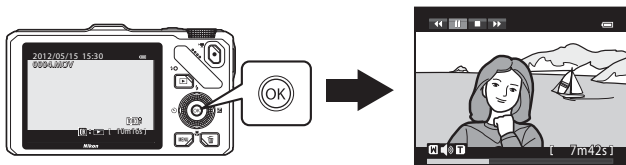
ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2 のヘルプを参照してください。

ViewNX 2 を手動で起動するには

- Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS：Dock の［**ViewNX 2**］アイコンをクリックします。

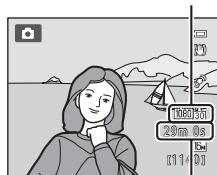
動画を撮影、再生する

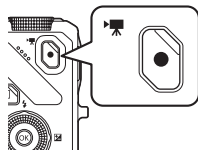
●（🎥 動画撮影）ボタンを押すだけで、動画を撮影できます。

再生モードで🆗ボタンを押すと、動画を再生します。

動画を撮影する

●（動画撮影）ボタンを押すだけで、すぐに動画を撮影できます。
色合いやホワイトバランスなどの静止画の設定は、動画にも引き継がれます。

1 電源をONにして、撮影画面を表示する

- 動画設定は、撮影する動画の種類を表します。初期設定は、［**HD 1080p★ (1920 ×1080)**］です（90）。
- 動画は、画角（写る範囲）が静止画に比べて狭くなります。セットアップメニュー（100）［**モニター設定**］→［**モニター表示設定**］を［**動画枠+情報AUTO**］にすると、撮影前に動画の写る範囲を確認できます。

  ※イラスト上の記録可能時間の数値は、実際とは異なります。

2 ●（動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。

- ［**動画設定**］が［**HD 1080p★ (1920 × 1080)**］など縦横比16:9の動画設定で撮影する場合、撮影画面の縦横比が16:9に切り換わります（右の画面の範囲で記録されます）。
- 記録可能な残り時間の目安を液晶モニターで確認できます。内蔵メモリーへの記録中は、INが表示されます。
- 動画撮影中にマルチセレクターの ▶ を押すと、動画撮影が一時停止します（［**iFrame 540 (960×540)**］、HS動画を除く）。撮影を再開するには、もう一度▶を押します。一時停止のまま5分経過、または●（動画撮影）ボタンを押すと、撮影が終了します。
- 記録可能な残り時間が無くなると、撮影が自動的に終了します。

3 ●（動画撮影）ボタンを押して撮影を終了する

撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**バッテリー/SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（🕮19）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 電子ズームを使うと、画質は劣化します。電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。
- ズームレバーなどの操作音や、ズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する

カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、30 秒後に撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数（30s）が画面に表示されます。自動終了後、5秒後に電源もOFFになります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

動画撮影のピント合わせについて

- 動画メニューの［**AFモード**］（🕮91）がAF-S［**シングルAF**］（初期設定）の場合、●（🎥 動画撮影）ボタンで撮影を開始したときに、ピントは固定されます。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（🕮29）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を撮影するときは、以下の方法をお試しください。
  1. 撮影前に動画メニューの［**AFモード**］をAF-S［**シングルAF**］（初期設定）にする。
  2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（🎥 動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画の記録可能時間

動画設定（□91）	内蔵メモリー（約 26 MB）	SDカード（4 GB）※
HD 1080p★ (1920×1080)	約12秒	約35分
HD 1080p (1920×1080)	約14秒	約40分
HD 720p (1280×720)	約27秒	約50分
iFrame 540 (960×540)	約7秒	約25分
VGA (640×480)	約59秒	約2時間30分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類や撮影した動画のビットレートによって記録可能時間は異なります。

※ 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

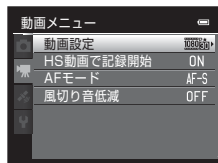
動画撮影で使える機能

- クリエイティブスライダー、ホワイトバランス（（オート撮影）モード、連写モード時）、または露出補正の設定も撮影する動画に反映します。スペシャルエフェクトモード（□57）やシーンモード（□38）での色合いも動画に反映します。マクロモードがONのときは、より被写体に近づいて動画を撮影できます。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー（□63）を使えます。セルフタイマーを設定し、●（動画撮影）ボタンを押すと、10秒または2秒後に動画撮影を開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前にMENUボタンを押して、（動画）タブに切り換えると動画メニューの設定ができます（□91）。

HS（ハイスピード）動画を撮影する

動画メニュー［**動画設定**］を［**HS 120 fps (640×480)**］、［**HS 60 fps (1280×720)**］、［**HS 15 fps (1920×1080)**］にすると、スローモーション動画や早送り動画を撮影できます。

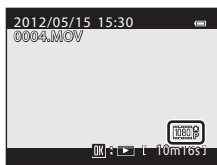
動画撮影の設定を変える（動画メニュー）

以下の項目の設定が変更できます。

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 動画タブ（11）

項目	内容
動画設定	撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画とスローモーション再生や早送り再生ができるHS（ハイスピード）動画があります。初期設定は［**HD 1080p★ (1920 × 1080)**］です。
HS動画で記録開始	［**動画設定**］でHS動画を選択したときに、撮影開始からHS動画で記録するかどうかを選びます。初期設定は［**ON**］です。 ［**OFF**］にすると、通常速度の動画で記録を開始します。撮影中にOKボタンを押すと、HS動画での記録に切り換わります。
AFモード	通常速度の動画で撮影するときのオートフォーカスの方法を選びます。 動画撮影開始時のピントに固定する［**シングルAF**］（初期設定）、または動画撮影中もピント合わせを繰り返す［**常時AF**］を選べます。 ［**常時AF**］にすると、ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。
風切り音低減	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録するか設定します。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。初期設定は［**OFF**］です。 ・［**動画設定**］で HS 動画を選択したときは、使えません。［**OFF**］に固定されます。

動画を再生する

1 ▶（再生）ボタンを押し、再生モードにする

- マルチセレクターで動画を選びます。
- 動画設定（📖90）のアイコンが表示されている画像が動画です。

2 Ⓞボタンを押し、再生する

音量の調節

再生中にズームレバー **T**/**W**（📖2）を操作します。

動画再生中の操作

画面上部には操作パネルが表示されます。
マルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、Ⓞボタンを押すと以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀◀	Ⓞボタンを押している間、巻き戻します。※	
早送り	▶▶	Ⓞボタンを押している間、早送りします。※	
一時停止	❚❚	一時停止中に画面上部の操作パネルのアイコンで以下の操作ができます。	
		◀❚❚	1コマ戻ります。Ⓞボタンを押し続けると、連続してコマ戻しします。※
		❚❚▶	1コマ進みます。Ⓞボタンを押し続けると、連続してコマ送りします。※
		✂	動画の必要な部分だけを切り出して保存します。
		▶	再生を再開します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。	

※ マルチセレクターを回してもコマ送り/コマ戻しできます。

動画を削除するには、1コマ表示（📖30）やサムネイル表示（📖31）で動画を選んで🗑ボタンを押します（📖32）。

✔ 動画再生についてのご注意

COOLPIX S9300以外で撮影した動画は、再生できません。

GPS、電子コンパスを使う

GPS（Global Positioning System）は、衛星軌道上のGPS衛星からの電波を利用して、地球上のどこにいるかを測るシステムです。
この章では、GPSを使って画像に位置情報を記録する機能について説明しています。

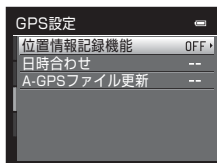
GPSの位置情報記録を開始する

カメラ内蔵のGPSを使うと、GPS衛星から電波を受信して、現在の時刻と位置を計算します。
位置を計算することを「測位」といいます。
測位した位置情報（緯度と経度）は、撮影する画像に記録できます。

位置情報の記録を開始するには、［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］を設定します。

MENUボタンを押す ➔ （GPS設定）タブ（□11）➔ GPS設定

カメラの［**地域と日時**］（□100）は、GPS機能を使う前に、正しく設定してください。

1 マルチセレクターで［**位置情報記録機能**］を選び、Ⓚボタンを押す

2 ［**ON**］を選び、Ⓚボタンを押す

- GPS衛星から電波を受信し、測位が始まります。
- 初期設定は、［**OFF**］です。

3 MENUボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。
- GPS衛星からの電波の受信を開始するときは、空のひらけた屋外で操作してください。

GPSについてのご注意

- はじめて測位したときや、測位できない状態が約2時間経過したとき、バッテリーの交換をしたときは、測位情報を取得するまで数分かかります。
- ［**位置情報記録機能**］が［**ON**］時、［**ログ取得**］（□98）でログを取得している時間内は、カメラの電源をOFFにしていても、GPS機能が働きます。
- GPS衛星の位置は常に変化しています。お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できないこともあります。GPSを使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。GPSアンテナ部（□2）を空に向けると受信しやすくなります。
- 航空機内や病院で電源をOFFにする必要があるときは、［**位置情報記録機能**］の設定も［**OFF**］にしてください。
- 以下のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかったり、測位した位置が実際にいた場所と異なることがあります。
  - 建物の中や地下
  - 高層ビルの間
  - 高架の下
  - トンネルの中
  - 高圧電線などの近く
  - 密集した樹木の間
  - 水中
- 1.5 GHz帯を利用する携帯電話などを本機の近くで使うと、測位しにくくなることがあります。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のカバンなどに入れないでください。金属製のものでおおうと測位できません。
- GPS衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。
- 測位するときは、周りの状況や足もとにご注意ください。
- カメラでの再生時に表示する撮影日、撮影時刻には、撮影時のカメラの内蔵時計の日時が記録されます。画像に記録した位置情報の取得時刻は、カメラでは表示できません。
- 連写で撮影した画像には、1コマ目に撮影した位置情報が記録されます。
- このカメラのGPS機能の測地系は、世界測地系（WGS 84 : World Geodetic System1984）です。

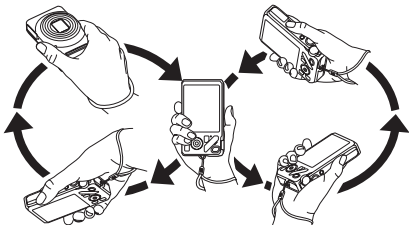
GPS受信状態表示と地名情報（POI情報）について

- GPS受信状態は、撮影画面で確認できます。
  - ：4つ以上の衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
  - ：3つの衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
  - ：衛星から受信していますが、測位できていません。画像に位置情報は記録されません。
  - ：衛星から受信ができず、測位できません。画像に位置情報は記録されません。
- ランドマーク名（施設名）などの地名情報をPOI 情報といいます。
  - GPS設定メニュー（97）の［**POI設定**］の［**POI表示設定**］を［**ON**］にすると、撮影時には現在地に最も近い地名情報を表示します。
  - ［**POI記録**］を［**ON**］にすると、撮影時に画像に 地名情報を記録できます（動画には記録できません）。
  - 地名情報を記録した画像の再生時は、［**POI表示設定**］を［**ON**］にすると、撮影時の地名情報を表示します。
- ［**POI設定**］の［**POI表示レベル設定**］の設定したレベルによっては、地名情報が「----」と表示される場合があります。また、意図したランドマーク名が登録されていなかったり、ランドマーク名が異なる場合があります。

位置情報を記録した画像について

- 位置情報を記録した画像は、再生時にが表示されます（8）。
- 位置情報を記録した画像はパソコンに転送後、ViewNX 2を使って位置情報を地図上で確認できます（83）。
- 画像ファイルに記録されているGPS情報は、取得した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。

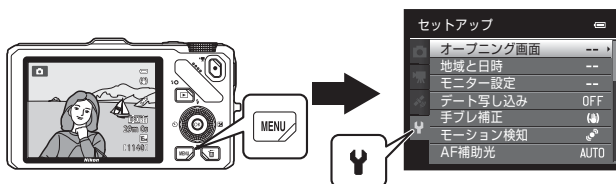
GPSや電子コンパスの設定を変える（GPS設定メニュー）

GPS設定メニューでは、以下の項目の設定が変更できます。

MENUボタンを押す ➔ （GPS設定）タブ（□11）

項目	内容
GPS設定	［**位置情報記録機能**］：［**ON**］にすると、GPS衛星から電波を受信し、測位が始まります（□94）。初期設定は［**OFF**］です。 ［**日時合わせ**］：GPS衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します（GPS設定メニュー［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］が［**ON**］のときのみ）。 ［**A-GPSファイル更新**］：SDカードを使ってA-GPS（アシストGPS）ファイルを更新します。最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を測位するまでの時間を短くできます。
POI設定	POI（Point of interest、地名情報）に関する設定をします。 ［**POI記録**］：［**ON**］にすると、撮影する画像に地名情報を記録します（動画を除く）。初期設定は［**OFF**］です。 ［**POI表示設定**］：［**ON**］にすると、撮影画面や再生画面に地名情報を表示します。再生画面では、［**POI記録**］を［**ON**］にして撮影した画像に、撮影時の地名情報を表示します。初期設定は［**OFF**］です。 ［**POI表示レベル設定**］：地名情報の表示レベルを設定します。レベルが大きいほど、詳細な地域情報になり、レベルが小さいほど広域な地域情報（国名など）になります。 ［**POI情報編集**］：画像に記録された地名情報のレベルを変更したり、地域情報を削除したりできます。

項目	内容
ログ取得	・［**ログ取得開始**］で、設定した時間が経過するまで一定の間隔で測位した位置情報を記録します（GPS 設定メニュー［**GPS 設定**］→［**位置情報記録機能**］の［**ON**］時）。 ・取得したログデータは、［**ログ取得終了**］を選び、SD カードに保存します。
ログデータ表示	［**ログ取得**］→［**ログ取得終了**］でSDカードに保存したログデータの確認や削除ができます。 ・ログを削除するには、ログを選んで 🗑 ボタンを押します。
電子コンパス設定	［**コンパス表示**］：［**ON**］にすると、撮影画面にカメラを向けた方位を表示します。液晶モニターを上に向けるとコンパス表示が円型（方位磁石）に切り換わり、赤い指針が北を指します。初期設定は［**OFF**］です。 ［**コンパス補正**］：コンパスの方位が正しく表示されないときに、コンパスの補正をします。カメラが前後、左右、上下を向くように手首を回しながら、8の字を書くように振ってください。

カメラに関する基本設定

この章では、Yセットアップメニューで設定できる項目の種類を説明しています。

- メニュー画面の基本操作については、「メニューを使う（MENUボタン）」（□11）をご覧ください。

セットアップメニュー

MENUボタンを押す ➔ Ｙ（セットアップ）タブ（□11）

メニュー画面でＹタブを選ぶと、以下の項目をセットアップメニューで設定できます。

項目	内容
オープニング画面	［**COOLPIX**］を選ぶと、電源ON時に、オープニング画面（COOLPIXロゴ）を表示してから、撮影/再生画面を表示します。［**撮影した画像**］を選ぶと、オープニング画面として撮影した画像を表示します。初期設定は［**なし**］です。
地域と日時	内蔵時計の日時を設定します。［**タイムゾーン**］では、ご使用の地域や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差を自動計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。
モニター設定	［**モニター表示設定**］では、撮影画面や再生画面に情報を表示するかどうかを選びます。構図を決める参考になる格子線を表示する［**格子線+ 情報AUTO**］も選べます。また、撮影後の画像表示や画面の明るさを設定します。
デート写し込み	撮影時に画像に撮影日時を写し込んで記録します。初期設定は［**OFF**］です。 • 以下の場合は日時を写し込めません。 - シーンモードが［**夜景**］（［**手持ち撮影**］時）、［**夜景ポートレート**］（［**手持ち撮影**］時）、［**かんたんパノラマ**］または［**3D 撮影**］のとき - 連写モードの［**連写**］設定（□55）が［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］または［**高速連写 60 fps**］のとき - 動画のとき

項目	内容
手ブレ補正	撮影時に手ブレの影響を軽減します。初期設定は［**ON**］です。 • 三脚などでカメラを固定するときは、補正機能の誤動作を防ぐため［**OFF**］にしてください。
モーション検知	撮影時にカメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。初期設定は［**AUTO**］です。 撮影画面の表示は、ブレを検知してシャッタースピードが速くなると緑色に変わります。 • 撮影モードなどの設定によっては、検知しません。その場合は撮影画面には表示されません。
AF補助光	［**AUTO**］（初期設定）時は、暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光（□29）が点灯します。 • AF補助光が届く距離は、広角側で約3.0 m、望遠側で約2.0 mです。 • AF補助光の設定にかかわらず、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しません。
電子ズーム	［**ON**］（初期設定）時は、光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、電子ズームが作動します（□27）。 • 撮影モードなどの設定によっては、電子ズームは使えません。
操作音	操作時に電子音を鳴らすかどうかを設定します。初期設定では電子音が鳴ります。 • 撮影モードなどの設定によっては、操作音は鳴りません。
オートパワーオフ	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。初期設定は［**1分**］です。
メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）	SDカードを入れていないときは内蔵メモリーを、SDカードを入れているときはSDカードを初期化（フォーマット）します。 • **初期化すると内蔵メモリーまたはSDカード内のデータはすべて削除され、元に戻せません。** 必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。
言語/Language	メニュー画面などに表示する言語を選びます。

項目	内容
TV出力設定	テレビと接続するときの設定をします。 • オーディオビデオケーブルでテレビと接続しても画像がテレビに映らないときは、テレビの方式に合わせて、［**ビデオ出力**］を［**NTSC**］または［**PAL**］に設定します。 • HDMI の設定ができます。
パソコン接続充電	［**AUTO**］（初期設定）時は、パソコンと接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。 • パソコンで充電する場合、本体充電 AC アダプター EH-69P 使用時に比べて、充電に時間がかかることがあります。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
目つぶり検出設定	連写モードとベストフェイスモード以外で顔認識撮影（□75）した直後、被写体の人物が目を閉じている可能性をカメラが検出すると［**目つぶり確認**］画面が表示され、撮影した画像を確認できます。初期設定は［**OFF**］です。
Eye-Fi送信機能	市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうか設定します。初期設定は［**無効**］です。
サムネイルバー	［**ON**］時に再生モードの1コマ表示（□30）でマルチセレクターを速く回すと、画面下部に前後の画像のサムネイルを表示します。初期設定は［**OFF**］です。
設定クリアー	カメラを初期設定にリセットします。 • ［**地域と日時**］、［**言語 /Language**］など、一部の設定内容はリセットされません。
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

付録、索引

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖vi、vii）をお守りください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● バッテリーやACアダプター、メモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● モニター画面（電子ビューファインダー含む）について

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、ご注意ください。

バッテリーについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖viii、ix）をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後のバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃～40℃ の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が 5℃～35 ℃ の室内で充電してください。
- バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。
  バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
  バッテリーの温度が45℃～60℃のときは、充電できる容量が減ることがあります。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影環境に応じて、予備バッテリーをご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーも用意する

バッテリーは一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかったバッテリーも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなったバッテリーは充電する

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- バッテリーを使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- バッテリーは、付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

バッテリーを充分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

本体充電ACアダプターについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖ix）をお守りください。

- 本体充電ACアダプター EH-69Pに対応している機器以外で使わないでください。
- EH-69P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- EH-69Pは、家庭用電源のAC 100－240 V、50/60 Hz に対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SDカード以外は使えません。
  推奨SDカード→ □19
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- SDカードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、［**いいえ**］を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、［**はい**］を選んで ⓀボタンをÂ押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
  - バッテリー /SDカードカバーを開けて、カードやバッテリーを脱着する
  - カメラの電源を OFFにする
  - ACアダプターを外す

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の有機溶剤や化学洗剤、防錆剤、曇り止めは使わないでください。

レンズ

- ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。
- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。
- 強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。
- 汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。
- 強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

- ゴミやホコリをブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。
カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

バッテリーの保管は、「取り扱い上のご注意」の「バッテリーについて」の「●保管について」（🔆4）をお守りください。

地名情報データ使用許諾契約書

このデジタルカメラ（以下「本製品」という）に搭載した地名データ（以下「本データ」という）は、以下の条件でお使いになれます。

データ使用許諾契約書

1. 個人使用限定
株式会社ニコン（以下「ニコン」という）又はニコンのライセンサーは、本データの著作権及びお客様への使用許諾に必要な一切の諸権利を保有しています。ニコンは、お客様に対して、本データについて、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用の目的のためにのみ、本製品及び本製品で撮影された画像データと共に使用する権利を許諾します。本データは、使用権を許諾されるものであり、販売されるものではありません。

2. 禁止事項
お客様は、次に記載する行為を行ってはなりません。
（1）サービス業務、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用すること。
（2）インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。
（3）測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には、携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末（PDA）が含まれますが、これらに限定されるものではありません。
（4）本データ使用許諾契約により許諾された範囲を超えて、本データの全部又は一部を媒体の如何を問わず複製すること。
（5）本データを変更、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブル等すること。
（6）法律で認められている場合を除き、本データを販売、譲渡、頒布もしくは再使用許諾等すること、又はネットワーク上にアップロードすること。
（7）本データ及びこれに関連する物を直接又は間接に輸出すること。
（8）その他、本データ使用許諾契約により許諾されている以外のことを行うこと。

3. 警告
時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確又は不完全な情報が含まれているおそれがあります。

4. 著作権及びその他の知的財産権
本データは、日本国著作権法、その他の国の著作権法及び国際条約の規定により保護されています。お客様は、本データに含まれる著作権表示、商標又はその他の保護表示を除去してはなりません。

5. 免責
ニコン及びニコンのライセンサーは、お客様の本データの使用に関連して生じるお客様ご自身又は第三者の損害、その他の問題について、一切の責任を負いません。但し、法律に当該免責を認めない旨の定めのある場合はこの限りではありません。ニコン及びニコンのライセンサーは、本データの内容を随時変更する権利を留保します。

6. その他
本データ使用許諾契約は、日本国の法律に基づいて解釈されるものとします。本データ使用許諾契約に関する一切の紛争の管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

Government End Users.

If the Data supplied by NAVTEQ is being acquired by or on behalf of the United States government or any other entity seeking or applying rights similar to those customarily claimed by the United States government, the Data is a "commercial item" as that term is defined at 48 C.F.R. ("FAR") 2.101, is licensed in accordance with the End-User Terms under which this Data was provided, and each copy of the Data delivered or otherwise furnished shall be marked and embedded as appropriate with the following "Notice of Use," and shall be treated in accordance with such Notice:

Notice of Use
Contractor (Manufacturer/ Supplier) Name: NAVTEQ
Contractor (Manufacturer/Supplier) Address:
425 West Randolph Street, Chicago, Illinois 60606
This Data is a commercial item as defined in FAR 2.101
and is subject to the End-User Terms under which this
Data was provided.

If the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official refuses to use the legend provided herein, the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official must notify NAVTEQ prior to seeking additional or alternative rights in the Data.

許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

●地名情報データについて

本サービスは株式会社ゼンリンPOI（位置情報）を使用しています。“ゼンリン”は株式会社ゼンリンの登録商標です。

●日本以外の地名情報データについて

Austria	© Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen
Croatia **Cyprus** **Estonia** **Latvia** **Lithuania** **Moldova** **Poland** **Slovenia** **Ukraine**	© EuroGeographics
France	source: © IGN France – BD TOPO ®
Germany	“Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zuständigen Behörden entnommen”
Great Britain	Contains Ordnance Survey data © Crown copyright and database right 2010 Contains Royal Mail data © Royal Mail copyright and database right 2010
Greece	Copyright Geomatics Ltd.
Hungary	Copyright © 2003; Top-Map Ltd.
Italy	La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.
Norway	Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority
Portugal	Source: IgeoE – Portugal

Spain	Información geográfica propiedad del CNIG
Sweden	Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.
Switzerland	Topografische Grundlage: ©Bundesamt für Landestopographie
Canada	This data includes information taken with permission from Canadian authorities, including © Her Majesty, © Queen's Printer for Ontario, © Canada Post, GeoBase®, © Department of Natural Resources Canada. All rights reserved.
Mexico	Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía.)
Australia	© Hema Maps Pty. Ltd, 2011. Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psma.com.au). Product incorporates data which is © 2011 Telstra Corporation Limited, GM Holden Limited, Intelematics Australia Pty Ltd, NAVTEQ International LLC, Sentinel Content Pty Limited and Continental Pty Ltd.
Israel	© Survey of Israel data source
Jordan	© Royal Jordanian Geographic Centre
Mozambique	Certain Data for Mozambique provided by Cenacarta © 2011 by Cenacarta
Réunion	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Ecuador	INSTITUTO GEOGRAFICO MILITAR DEL ECUADRO AUTORIZACION N° IGM-2011-01- PCO-01 DEL 25 DE ENERO DE 2011
Guadeloupe	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Guatemala	Aprobado por el INSTITUTO GEOGRAFICO NACIONAL – Resolución del IGN N° 186-2011
French Guiana	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Martinique	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Mexico	Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía)

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラ内のバッテリーを充電できない	• 端子の接続状態を確認してください。	16 18
パソコンに接続してバッテリーを充電できない	• セットアップメニュー［**パソコン接続充電**］が［**OFF**］になっています。 • パソコンに接続して充電しているときは、カメラの電源をOFFにすると、バッテリーの充電も中止されます。 • パソコンに接続して充電しているときに、パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源がOFFになることがあります。 • パソコンの仕様、設定または状態によっては、パソコンに接続してカメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。	102 –
電源をONにできない	• バッテリー残量がありません。 • 本体充電ACアダプターでコンセントに接続しているときは、電源はONにできません。	20 16
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • カメラの電源をONにしたまま、本体充電ACアダプターを接続すると電源がOFFになります。 • パソコンまたはプリンターとの接続中にUSBケーブルが外れると電源がOFFになります。USBケーブルの接続をやり直してください。 • カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。	20 21 16 82、85 – 🔆3

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターに何も映らない	• 電源がONになっていません。 • バッテリー残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、▶ボタンまたは●（動画撮影）ボタンを押すか、モードダイヤルを回してください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがAVケーブルまたはHDMIケーブルで接続されています。	21 20 21 60 82、85 82
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	100 🔆6
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00　00:00」、動画の撮影日時が「2012/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**地域と日時**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。	22、100 100
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報OFF**］になっています。	100
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**地域と日時**］が設定されていません。	22、100
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	• 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • デート写し込みが制限される他の機能の設定がされています。 • 動画には写し込みできません。	100 73 –
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	23
設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	23
液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	21

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラの温度が高くなる	動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	89

● デジタルカメラの特性について
きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	82、85
撮影できない	• 再生モードになっているときは、▶ ボタン、シャッターボタンまたは ●（動画撮影）ボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	30 11 20 60
3D画像を撮影できない	被写体が動く、暗い、コントラストが低いなど、撮影条件によっては、2コマ目を撮影できないことや、撮影した画像を保存できないことがあります。	–
ピントが合わない	• 被写体との距離が近すぎます。マクロモード、SCENE（おまかせシーン）、またはシーンモードの［**クローズアップ**］での撮影をお試しください。 • オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • シャッターボタンを半押ししたときに、被写体が AF エリア内に入っていません。 • 電源を入れ直してください。	39、45 29 101 28、37 21
撮影時の画面に色の着いた縞模様が発生する	同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドなど）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがありますが、故障ではありません。 記録される画像、動画にこの現象は残りません。ただし、［**高速連写 120 fps**］と［**HS 120 fps (640×480)**］では、記録される画像、動画にこの現象が残ることがあります。	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。 • ISO 感度を上げて撮影してください。	60 101 56 63 37
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを Ⓢ（発光禁止）にしてください。	61
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが Ⓢ（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しない撮影モードになっています。 • フラッシュが制限される他の機能の設定がされています。	61 59 73
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。 • シーンモードが （おまかせシーン）、（夜景）、（逆光）（［**HDR**］ON 時）、［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**かんたんパノラマ**］、［**ペット**］または［**3D 撮影**］のときは、電子ズームは使えません。 • ベストフェイスモードのときは、電子ズームが使えません。 • 電子ズームが制限される他の機能の設定がされています。	101 39、40、41、42、43、47、48、49 50 73
［**画像モード**］が選べない	• ［**画像モード**］が制限される他の機能の設定がされています。	71
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。 • シーンモードが［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］または［**ペット**］になっています。 • 連写モードになっています。 • シャッター音が制限される他の機能の設定がされています。 • スピーカーをふさがないでください。	101 42、46、48 3
AF 補助光が点灯しない	セットアップメニュー［**AF 補助光**］が［**OFF**］になっています。［**AUTO**］に設定していても、AF エリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	101
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	37、45、65

付録、索引

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）などが写し込まれることがあります。 光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	–
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	60 37
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが Ⓢ（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの 逆光アイコン（逆光）にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。	61 26 60 68 37 41、60
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	68
赤目以外の部分が補正された	⚡◉（赤目軽減自動発光）やシーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外の撮影モードで、フラッシュモードを ⚡◉（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	43、60
美肌の効果が得られない	• 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 • 4 人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー［**美肌**］をお試しください。	52 80
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 • 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを ⚡◉（赤目軽減自動発光）にして撮影したとき • 以下のシーンモードで撮影したとき 　- 夜景アイコン（夜景）の［**手持ち撮影**］ 　- 逆光アイコン（逆光）の［**HDR**］が［**OFF**］以外 　-［**夜景ポートレート**］の［**手持ち撮影**］ 　-［**かんたんパノラマ**］ • 連写したとき	– 61 40 41 43 47 55

付録、索引

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • COOLPIX S9300 以外で撮影した動画は再生できません。	– 92
連写グループが再生できない	• COOLPIX S9300 以外で連写した画像は、連写グループとして再生できません。 • ［**連写グループ表示方法**］の設定を確認してください。	– 81
画像の拡大表示ができない	• 動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。 • COOLPIX S9300 以外で撮影した画像は、拡大表示できないことがあります。 • カメラを HDMI 接続して、3D 画像を 3D（立体）で再生しているときは、拡大表示できません。	– –
音声メモの録音や再生ができない	• 動画には音声メモを付けられません。 • COOLPIX S9300 以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。	– 81
画像や動画を編集できない	• 画像や動画の編集が可能な条件を確認してください。 • COOLPIX S9300 以外で撮影した画像や動画は編集できません。	80 –
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**TV 出力設定**］の［**ビデオ出力**］または［**HDMI**］が正しく設定されていません。 • HDMI ミニ端子と USB/ オーディオビデオ出力端子の両方にケーブルが接続されています。 • 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときはSDカードを取り出してください。	102 82 18
お気に入りフォルダーのアイコン設定が初期設定に戻っていたり、お気に入り登録した画像がお気に入り再生モードで再生できない	内蔵メモリー /SD カード内のデータがパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影した画像がオート分類再生モードで再生できない	• 表示したい画像が、参照している項目とは別の項目に分類されています。 • COOLPIX S9300 以外で撮影した画像または［**画像コピー**］でコピーした画像は、オート分類再生モードで表示できません。 • 内蔵メモリー /SD カード内の画像がパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。 • 1 つの分類項目で表示できるのは、999 コマまでです。すでに 999 コマ登録されている場合は、それ以降に撮影した画像は登録されません。	—
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • USBケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご参照ください。	21 20 82 — 83 —
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge起動画面が表示されない	PictBridge対応プリンターの種類によっては、［**パソコン接続充電**］を［**AUTO**］に設定していると、PictBridge起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。［**パソコン接続充電**］を［**OFF**］にしてプリンターに接続し直してください。	102
プリントする画像が表示されない	• 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。 • 3D 撮影した画像はプリントできません。	18 19
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	—

GPS関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
測位できない、測位に時間がかかる	• 撮影する環境によって、測位できないことがあります。GPS を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。 • はじめて測位したときや、測位できない状態が約 2 時間経過したとき、バッテリーの交換をしたときは、測位情報を取得するまで数分かかります。	95 95
撮影した画像に位置情報が記録されない	撮影時の画面に や が表示されているときは位置情報が記録されません。撮影前にGPS受信状態を確認してください。	96
撮影した場所と記録した位置情報に誤差がある	撮影する環境によって、測位に誤差が生じることがあります。GPS衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。	95
記録された地名情報が意図したものと違う、または表示されない	希望のランドマーク名が登録されていなかったり、ランドマーク名が異なる場合があります。	–
A-GPS ファイルが更新できない	• 以下のことを確認してください。 - SD カードが入っているか - SD カード内に A-GPS ファイルが入っているか - SD カード内の A-GPS ファイルがカメラ内の A-GPS ファイルより新しいか - 有効期限が切れていないか • A-GPS ファイルが壊れている可能性があります。ホームページからダウンロードし直してください。	–
ログデータを保存できない	• SD カードが入っているか確認してください。 • 記録できるログデータの数は、1 日に 36 件までです。 • 1枚のSDカードに保存できるログデータは、最大で100件までです。不要なログデータを SD カードから削除するか、新しい SD カードに交換してください。	– –

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S9300

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	16.0メガピクセル
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数16.79メガピクセル
レンズ	光学18倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.5-81.0mm（35mm判換算25-450 mm相当の撮影画角）
開放F値	f/3.5-5.9
レンズ構成	10群11枚（EDレンズ2枚）
電子ズーム	最大4倍（35mm判換算で約1800 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正	レンズシフト方式
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離	• 先端レンズ面中央から約 50 cm ～∞（広角側）、約 1.5 m ～∞ （望遠側） • マクロモード時は先端レンズ面中央から約 4 cm（広角側）～∞
AFエリア	顔認識オート、オート（9点）、中央、マニュアル（99点）、ターゲット追尾
液晶モニター	広視野角3型TFT液晶、反射防止コート付き、約92万ドット輝度調節機能付き（5段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約98%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー（約 26 MB）、 SD/SDHC/SDXC メモリーカード
画像ファイル	DCF、Exif 2.3、DPOF、MPF準拠
ファイル形式	静止画： JPEG 3D画像：MPO 音声メモ：WAV 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：AAC ステレオ）
画像モード（記録画素数）	• 16M（高画質）［**4608×3456★**］ • 16 M ［**4608×3456**］ • 8 M ［**3264×2448**］ • 4 M ［**2272×1704**］ • 2 M ［**1600×1200**］ • VGA ［**640×480**］ • 16:9 12M ［**4608×2592**］
ISO感度（標準出力感度）	• ISO 125、200、400、800、1600、3200 • オート（ISO 125 ～ 1600） • 感度制限オート（ISO 125 ～ 400、125 ～ 800）

項目	仕様
露出	
測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
露出制御	プログラムオート、モーション検知機能付き、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	• 1/2000 ～ 1 秒 • 1/4000 ～ 1/120 秒（高速連写 120 fps） • 1/4000 ～ 1/60 秒（高速連写 60 fps） • 4 秒（シーンモードの ［**打ち上げ花火**］）
絞り	電磁駆動によるNDフィルター（-2 AV）選択方式
制御段数	2（f/3.5、f/7［広角側］）
セルフタイマー	約10秒、約2秒
フラッシュ	
調光範囲（ISO感度設定オート時）	約0.5～5.1 m（広角側） 約1.5～3.0 m（望遠側）
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース	Hi-Speed USB
通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
HDMI出力	オート、480p、720p、1080i から選択可能
入出力端子	オーディオビデオ（AV）出力/デジタル端子（USB）、HDMIミニ端子（Type C）（HDMI出力）
電子コンパス	16方位（3軸加速度センサーによる姿勢補正機能付き、自動偏角補正付き、自動オフセット調整機能付き）
GPS	受信周波数 1575.42 MHz（C/Aコード）、測地系 WGS 84
言語	日本語、英語の2言語
電源	• Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池：付属）× 1 個 • AC アダプター EH-62F （別売）
充電時間	約3時間50分（本体充電ACアダプター EH-69P使用時、残量のない状態からの充電時間）
撮影可能コマ数（電池寿命）※1	約200コマ（EN-EL12使用時）
動画撮影可能時間（電池寿命）※2	約50分 （［**HD 1080p★ (1920×1080)**］、EN-EL12 使用時）
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約108.7× 62.3×30.6 mm （突起部除く）

質量	約215 g（バッテリー、SDメモリーカード含む）
動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、リチャージャブルバッテリー EN-EL12をフル充電で使用時のものです。

※1 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23(±2)℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード［**4608×3456**］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動します。

※2 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分まででです。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh
使用温度	0 ℃～40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約32 × 43.8 × 7.9 mm
質量	約22.5 g（端子カバーを除く）

本体充電ACアダプター EH-69P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、0.068～0.042 A
定格入力容量	6.8～10.1 VA
定格出力	DC 5.0 V、550 mA
使用温度	0 ℃～40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約55 × 22 × 54 mm
質量	約55 g

説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数字

ア

カ

マ

ヤ

ラ

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン　サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
  ※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

Nikon

製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 ～ 18:00（年末年始､夏期休業日等を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は､（03）6702-0577 におかけください｡ファクシミリでのご相談は､（03）5977-7499 にお送りください｡

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと､ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が､梱包資材のお届け・修理品のお引き取り､修理後のお届け･集金までを一括して提供するサービスです｡全国一律の料金にて承ります｡

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため､取り扱いできない製品もございます｡

0120-02-8155　営業時間：9:00～18:00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です｡ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります｡
製品や修理に関するお問い合わせは､カスタマーサポートセンター､または修理センターへお願いいたします｡

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター＞

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

携帯OK

0570-02-8200

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は､（03）6702-0577 におかけください｡

●修理センターには､ご来所の方の窓口がございません｡宅配便のみお受けします｡ご了承ください｡

インターネットご利用の方へ

＜ニコンイメージング／サポートページ＞

- http://www.nikon-image.com/support/
  最新の製品テクニカル情報や､ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます｡
  ※製品をより有効にご利用いただくために､定期的にアクセスされるようおすすめします｡
- http://www.nikon-image.com/support/repair/
  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in China

FX2E03(10)

6MM20210-03